奈良県の中小企業魅力情報誌

あなたとナラ働こう

奈良県中小企業団体中央会

奈良県の中小企業魅力情報誌「あなたとナラ働こう」の発刊にあたって

奈良県中小企業団体中央会
会長　出口　武男

奈良県中小企業団体中央会は奈良県の中小企業の協同組合づくりやその活動を通じて県内の中小企業の様々な支援を行っております。

特に若い人たちの就職や、中小企業の人材確保、若手社員の育成・定着等は我が国の雇用問題や企業の経営にとって重要な課題であります。

本会ではこれらを推進していくため県内外の大学や行政・経済団体等とも連携し、「あなたとナラ働こう」のキャッチフレーズのもとに大学生を中心とした若い人たちと、県内の中小企業とのマッチング等の取り組みを実施しています。

私たちの奈良県には魅力に満ちた中小企業がたくさんあります。
その中で今回、大学生の方々がツアーを結成し自主的に企業を取材して頂きました。取材では会社見学の他、「働きがい」「職場の雰囲気」また「将来性」など専門的な質問も含め、会社の社長や幹部の方々に、ご協力を頂きました。その取材内容を「～ツアー後のレポートより～」と題して、学生の方々の目線で企業の魅力や感じたことなどを掲載させて頂いています。また、取材された学生の方々にとってもなかなか経験しえない貴重な体験ができ有意義な取り組みであったと思います。

本情報誌はこのように学生の方々の参画により作成したもので、先輩のメッセージなどもあり、学生や就職活動中の方々にとっても企業の魅力をわかりやすいものとなっています。また企業の方々におかれましても、自社の強みを再確認し、若い人たちの意見も参考にしていただければと存じます。

本情報誌は20社の企業の紹介しかしておりませんが、これをご参考にして頂き、奈良県の中小企業の魅力を感じ取って頂ければ幸いであります。
最後に、本誌を発行するにあたり取材して頂いた学生の方々、ご協力頂いた企業、大学並びに関係各位に厚くお礼申し上げます。

奈良県の中小企業魅力情報誌

あなたとナラ働こう

掲載企業一覧

4-7	1	大峰堂薬品工業 株式会社	〒635-0051 大和高田市根成柿 574 番地
8-11	2	株式会社 柿の葉ずし	〒630-8374 奈良市今御門町 30-1
12-15	3	カネマル 株式会社	〒630-8146 奈良市八条町 464-3
16-19	4	川端運輸 株式会社	〒639-1031 大和郡山市今国府町 690 番地
20-23	5	北野木材 株式会社	〒630-8135 奈良市大安寺西 3 丁目 8 番 12 号
24-27	6	株式会社 栗原製作所	〒639-1032 大和郡山市池沢町 90-8
28-31	7	株式会社 三光丸	〒639-2245 御所市今住 700 番地の 1
32-35	8	株式会社 昭和	〒630-0142 生駒市北田原町 2443-1
36-39	9	株式会社 ダイドー	〒630-0142 生駒市北田原町 1826-1
40-43	10	株式会社 ナカガワ	〒635-0065 大和高田市東中 2-12-25
44-47	11	株式会社 奈良情報システム	〒630-8241 奈良市高天町 10-1 T.T. ビル 4 階
48-51	12	奈良豊澤酒造 株式会社	〒630-8444 奈良市今市町 405
52-55	13	奈良精工 株式会社	〒633-0101 桜井市小夫 3681
56-59	14	西垣靴下 株式会社	〒635-0076 大和高田市大谷 61
60-63	15	日本計測システム 株式会社	〒633-0077 桜井市大西 526-1
64-67	16	株式会社 葉風泰夢	〒630-8114 奈良市芝辻町 2 丁目 11-6
68-71	17	株式会社 福本設計	〒630-8115 奈良市大宮町 6-4-21
72-75	18	孫七瓦工業 株式会社	〒636-0143 生駒郡斑鳩町神南 3-13-13
76-79	19	株式会社 明新社	〒630-8141 奈良市南京終町 3 丁目 464 番地
80-83	20	株式会社 若草食品	〒635-0818 北葛城郡広陵町大字南宇井殿 178

大峰堂薬品工業株式会社

誰もが健康で、幸せに

天然物の中でも、主に漢方薬を中心とした医薬品分野において、製品を開発・製造しています。漢方薬のエキスの製造技術をベースに、新たにアルコール抽出、超臨界抽出プラントを設置し、より精度の高い目的別エキス抽出技術を研鑽しています。熱水・アルコール・超臨界抽出の３つの抽出技術を用いて、新素材を開発し、天然物が持つ可能性を追究し、人に優しく安全な素材や製品として提供しています。

代表取締役社長　辻 将央

社長からのメッセージ

「仲間の幸せがあってこそ、
お客様に幸せを届けられる。」

生活者が健康を手に入れ、幸せに暮らせるように商品やサービスを提供することが、当社の使命です。その使命を担う者（従業員）が、まず幸せでなくてはいけないと考えています。

全従業員とその家族の幸福を追究してこそ消費者の幸福が生まれ、社会に貢献し続けられるのです。そのサイクルを実現すべく始めた取り組みのひとつが、全従業員を150名としますと、自宅を建築するには１人あたり 3000 万円として、45 億円、工場を再建するのに、35 億円、全従業員の生活費でだいたい 20 億円で合計で 100 億円の資産をつくり貯めることです。

仲間の身に、万が一、何かが起こった際に、きちんと手助けができるような会社でありたいという思いからスタートしました。

絆を感じることができる環境だからこそ、一人一人の主体的な行動が生まれ、それが大峰堂という一つの大きな力となっているのです。

企業の強み

漢方薬で、目指すのはニッチスペシャリティファーマ

当社は、天然物を原料とした漢方薬を中心に製造・販売しています。

原料へのこだわりは、徹底しており、どんな遠い産地にも直接足を運びます。

医薬品の品質を検査する試験の際は、一回の抽出作業で多数の確認試験を行います。添加物の使用を極力抑えることで工業化にも成功しています。同じ品質の製品を安定して供給することが大変難しい医薬品と言われていますが、100年の間、漢方薬と向き合ってきた当社は、厳密な

管理を行うため、生薬調達から包装に至るまでの各工程を自社で一貫して行い、飲み易さ、使い易さといったユーザビリティも追究しています。

天然物が持つ恵みをどこよりも信じ、人に優しく安全な商品を提供することで、これからも人々の健康に貢献していきたいと考えています。

企業 DATA

所 在 地： 大和高田市根成柿 574 番地
T E L ： 0745-22-3601
F A X ： 0745-23-2540
H P ： http://www.ominedo.co.jp/
業 種 ： 医薬品製造販売
設 立 ： 1947 年 設立（創業 1900 年）
資 本 金： 4,000 万円
売 上 高： 50億6,698万円 69期売上高（2015年9月末）
従業員数： 158 名
代 表 者： 代表取締役社長 辻 将央

採用 DATA

初 任 給： 大 卒 206,000円/諸手当
高 卒 145,000円/諸手当
年間休日： 105 日
休日･休暇： 慶弔・誕生日休暇
福利厚生： 各種社会保険完備・財形貯蓄制度・退職金制度

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採 用 人 数	3 人	6 人	3 人

目指す企業の姿

健康創造総合企業へ

私たちの目指す企業の姿は、「健康創造総合企業」になることです。それは創業以来、得意分野であった漢方薬を中心とした医薬品製造を事業のベースとし、その上で、その原点である天然物からの製品づくりをベースに新たな素材探索研究、エキス抽出技術を深堀し、製造技術を追求しています。

患者様やご家族、医療関係者、従業員を含む全ての方々に支えられたありがたみを噛み締めながら、全社一丸となって世界中の人々の「笑顔」を増やせるような企業になることなのです。

先輩社員からのメッセージ

漢方薬の新商品の医薬品開発の魅力は、２つあります。１つは社内外問わず、様々な方と仕事に携われること、２つめは、積極的に考え、行動し、実行出来ればお客様だけでなく、当社従業員みんなの役に立て、幸せにできる仕事に魅力を感じています。

一日の仕事の流れ

7:30	8:00	8:30	12:00	13:00	15:00	17:00	17:30	18:00
出社	朝礼･メールチェック	漢方薬の新商品への試作	昼休憩	漢方薬の新商品への試作	物性テスト	データ取りまとめ	片付け･日報作成	退社

仕事内容紹介

生産

エキス工程・製剤工程・包装工程の３つの部署があります。

エキス工程では、医薬品製造のためのエキス抽出、粉末化を行っています。海外から購入した生薬を本社へ運び入れて抽出していく、生産工程の最初の業務です。製剤工程では、エキス工程で粉末化したものを、錠剤や顆粒、細粒など その生薬の特長を活かし、かつ医薬品として飲みやすく加工する部署です。

包装工程では、成形した医薬品を包装し、梱包して出荷できる状態にする部署です。

医薬品の性質や特長に合わせて包装の形態は様々です。

開発

主に医薬品開発チームと新素材開発チームの２チームがあります。

医薬品開発チームでは、漢方薬を中心に、主にドラッグストア・薬局及び薬店など店頭に並ぶ一般用医薬品の開発を行っています。

また、医薬品の承認申請のための品質試験を行い、試作品に決められた有効成分が含まれているかどうか、長期間安定しているかどうかなどの確認をします。

新素材開発チームでは当社の超臨界抽出技術を用いて、天然物のエキスを抽出し、食品・化粧品などの原料を開発します。

また、漢方薬製造で培った技術を用いて健康食品の開発なども行います。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

天理大学　文学部　３年　西田 真徳・木村 一正

働きがい

辻社長が熱く語られたお話に感銘を受けた。中でも「社会的使命が高い会社（＝頼りがいのある会社）」、「患者を第一に考えている会社」、「大丈夫な会社」という言葉が深く印象に残った。繰り返しお話に出てきた「自分はさて置いても」というフレーズが、従業員のみなさんの働きがいとなって現れているようにも感じた。

大峰堂薬品工業株式会社は、明治33年に創業して以来その時代が追求するものを供給し続け、現在では医料用漢方薬や一般医薬品の製造・販売・研究開発を積極的に手掛けている。世界中の天然物を取り扱い、現地に直接足を運ぶなど特に原材料にはこだわっている。

また、安心して安全なものを供給するため、独自性がある天然物の抽出技術をもっている。従業員のみなさん全員が「すべて患者のみなさんの健康や幸せにつながっている」という高い志を持ってそれぞれの作業や研究に取り組んでおられる。さらに、理念として「全従業員の物心両面の幸せを追求すると共に、併して全人類の社会福祉に貢献する」とあり、また「みんなでみんなを幸せにし続ける」という社会貢献を目標とし、従業

員のみなさんも心身ともに健康で幸せであることを追求している会社であることが今回の取材で感じ取ることができた。

職場の雰囲気

従業員のみなさん全員がフランクに話ができるところがあり、困ったときにはお互いが助け合える雰囲気がある。また、社長直轄のプロジェクトがたくさんあり、とても働きやすい場所であることも感じ取ることができた。さらに、「経済的に厳しい方でも安心して薬を買って頂きたい」という思いで、一人ひとりが日々それぞれの業務に励んでおられる。

一番大切なことは、今の状況が決して当たり前ではなく感謝する気持ちを常に念頭に置いて、全員一丸となって仕事をされているところにある。

将来性

大峰堂薬品工業株式会社は、栽培から全てを希望通りに行っていて、利便性に気を遣っている。さらに品質への大きな自信とこだわりは、時に厳しすぎると映ることもあるが、すべてはお客様の笑顔を見たい一心から行われている。何よりも、患者のみなさんにとって、できるだけ飲みやすい医薬品の開発を続けている。

また、利益を追求する上で、二つの念頭に置いていることがある。一つは、社員に健康で幸せになってもらうことである。世界の人々が幸せになってもらうことが最大の目的と考えておられ、そのためにはまず自分達が幸せにならないと人々を幸せに出来ない。もう一つは、社会のために働いている従業員を何があっても守ることである。もしこの先大地震などにより従業員の家がなくなった時のためには、全従業員のために家を建てられるだけの貯蓄を蓄えるプランを組んでいる。

世界中の人々と全従業員の健康と幸せを強く願う数々の取り組み、無限の可能性への追求、という大峰堂薬品工業株式会社の方向性を見聞きしたとき、今後も着実に躍進する会社になるであろうと思いました。

株式会社柿の葉ずし
（総本家 平宗）

おいしいを誠実に作る会社

平宗は江戸の末期、文久元年（1861年）吉野上市にてすし（献上鮎なれずし）、川魚、乾物の商いを始めました。その後、吉野川沿いに料理旅館を開き、鮎料理、山菜料理を供しておりました。その際、料理の一品として、遠来のお客様に召し上がっていただいたのが、吉野地方の家庭料理であり、夏祭りのごちそうであった柿の葉ずしです。これが評判となり、徐々に商いの量も増え広く全国に知られるようになって現在に至ります。

代表取締役社長　平井 宗助

社長からのメッセージ

奈良の食べ物で私が一番奈良を体現していると思うのは「茶粥」と「柿の葉ずし」です。

茶粥は「米、ほうじ茶、塩」この３つの材料だけで、熱くても冷めても、それだけでも美味しくいただけるお料理。質素ではあるけれど決して貧しくはなく、素朴ではあるけれども決して地味ではない、そして毎日食べても飽きない、体にも良い、ほうじ茶の豊かな香りにつつまれて少々膨らんだお米を大切にいただく、そんなお食事です。

柿の葉ずしは、古くは熟れずしの流れをくみ、日本人が古くから大切にしてきた薬効のある柿の葉を使い、貴重な海の幸とまごころを抱いた優しいおすし。そこには日本人が古来より大切にしてきた「いただく」いのちへの感謝、海の幸（鯖）、山の幸（柿の葉）、地の恵み（お米）が三位一体となって醸しだす古人の知恵の結晶が得も言われぬ味わいとなって詰まっています。

これら２つは奈良以外のなにものでもない、奈良そのものを体現した滋味あふれるたべものです。

われわれ平宗はこれからも奈良の文化に寄り添い大切にしながら、次代のニーズに合った食を提案してゆきたいと考えております。

企業の強み

丁寧なものづくりと地域の文化に寄り添った商品開発

われわれは、手間ひまを惜しまず、「高品質」「安心安全」なものをお客様に提供することを常に目指しております。

食品の衛生基準が年々厳しなり、郷土の食文化を守る動きが活発化する中、体に優しい素材に拘り、可能な限り奈良に縁のあるものを使う、それは食材、商品名、さらにはそこに住まう人の気質も。素朴でありながらも滋味に富んだ奈良の食文化を、丁寧に真面目につくっていく。

奈良には素晴らしい食文化が沢山根付いています。発祥の地である日本酒を始め、醤油、味噌、酢、といった発酵食品が長い歴史を受け継ぎ作られています。

また、古の時代から現在に至るまで、おおくの人がこの地を愛でその美しさを遺してきました。

こういった奈良の文化に寄り添い、丁寧に商品を作り上げる感性と技術、それが当社の強みです。

企業 DATA

所 在 地： 奈良市今御門町 30-1
T E L ： 0743-64-2238
F A X ： 0743-64-2523
H P ： http://www.hiraso.jp/
業 種 ： すし製造および飲食店業
設 立 ： 文久元年創業 昭和 54 年設立
資 本 金： 2,000 万円
売 上 高： 7 億 7,000 万円
従業員数： 160 名
代 表 者： 代表取締役社長 平井 宗助

採用 DATA

初 任 給： 大 卒 194,000円/諸手当
高 卒 154,000円/諸手当 20,000円
年間休日： 104 日
休日･休暇： 完全週休 2 日
福利厚生： 各種社会保険完備

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	0 人	1 人	1 人

目指す企業の姿

地域から必要とされる企業に

お客様に喜んでいただき、そして全社スタッフが誠実に努力し、さらに地域が活性化する。平宗の事業が地域の豊かさの源になることがわれわれの企業の理想の姿です。

柿の葉ずし言うたら「平宗」さんやで！と奈良県の全ての人に言って頂けるように、雇用や仕入れ、奈良の食文化の啓蒙を通じて地域に貢献していきます。

また、当社にかかわる全てのスタッフが物心両面の豊かさを享受できるように努力してまいります。

先輩社員からのメッセージ

現在、平宗直営日本料理店の店長をさせていただいております。

一日一日が勉強ですが、やる気と明るさがあればどんどん新しいことにチャレンジさせてくれます。

この会社はチャレンジ精神に溢れ、決して後ろ向きにならない、そんな仲間と一緒に仕事ができることにやりがいを感じています。

一日の仕事の流れ

- 9:00 出社
- 10:30 ミーティング
- 11:00 ネット事業 店舗各部署補助 事務作業
- 19:00 閉店作業
- 19:30 ※土日は20:30 退社（夜飲食の予約がない場合）

仕事内容紹介

すしの製造・販売

柿の葉ずしを中心に、巻きずし、押し寿司、創作ずしなど、消費者の需要に応じて様々な商品を冷凍、チルドで製造販売しております。高品質な原材料の安定確保は、仕入れの重要な仕事であり、奈良県産、国産を中心に食材を集めています。炊飯からはじまり、酢合わせ、冷却、柿の葉の洗浄、すしご飯の形成、ネタのせ、柿の葉包装（商品冷凍）、詰め合わせ、包装・梱包、出荷、と言ったフローで作業しております。主な販売先は店舗での一般のお客様です。また、冷凍商品を中心に法人（生協等）への卸売販売も行っております。

柿の葉ずし等お寿司の販売

平宗は現在、レストランを４店舗運営しております。吉野町に有る本店では、吉野の郷土料理を提供、吉野葛や鮎を使った料理に、茶粥、柿の葉ずしを提供しております。またその他のレストランでも、茶粥や柿の葉ずし、三輪素麺といった奈良の郷土食を中心にメニューを構成し、県内外のみならず、沢山の海外のお客様にもご利用いただいております。また、各店および本社工場において、柿の葉ずしの手作り体験を実施しており、年間 5000 人以上のお客様が参加されております。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

畿央大学　健康科学部　２年　二ノ宮 穂美

働きがい

食べ物を作るということは責任重大でもあるが、その分、柿の葉寿司という昭和天皇にも献上された奈良県吉野の伝統的な郷土料理をたくさんの方に知ってもらいたいとお考えで「おいしい」 と言ってもらえるのがうれしいそうです。単純に商品を製造するということだけでなく、商品を通じて歴史や文化を発信しているのだと感じました。

そして社員の皆さんは食べることが好きな人が多いそうで食品を作ることに携われることが最大の働きがいであるともおっしゃっていました。

職場の雰囲気

職場の雰囲気は悪くなく良いほうだとおっしゃっていました。

最近は会社の経営方針を変えたのでもともといた社員さんで合わなくなった方は辞めるという形になってしまい入れ替わりが激しくなっており20, 30代が多く働いているそうです。

入れ替わりは激しいが人間関係を大切にされているそうです。会社が次の段階に進むためには仕方のないことだとも考えておられるそうです。

会社として現状に満足せず、常に向上していかないといけないのだと感じました。

将来性

個人のお客様も大切にしつつ、B to C事業の拡大をしていきたいとお考えでした。

また店舗販売以外にもインターネット事業で幅広く展開し、より多くのお客様に商品をお届けされたいそうです。

そして関西だけでなく関東にも店舗を拡大し柿の葉寿司を全国に広めていくことがこれからの課題であるそうです。

また、商品が変わっても包むという日本の優しい文化を大事にし、時代のニーズに合った商品をお届けしたいとお考えでした。

カネマル株式会社

快適な住生活に貢献する
エキスパート集団として業界トップを目指す！

1974 年の設立以来、奈良を中心とする近畿圏で事業展開しているカネマル。徹底した地域密着型の戦略によって、着実な成長を遂げてきた。常にポジティブマインドで事業拡大に取り組んでいます！住宅建材から住宅設備機器、構造材、さらには太陽光発電システムまで豊富なラインナップを取り揃え、快適かつ安全・安心な住まいづくりをサポートします。

社長からのメッセージ

代表取締役　松吉 政弘

「より良い家に住むのは万人の願いである。その達成のため、私達は全力で働く」が当社の会社理念です。

高度な建築技術とともに、住宅総合関連事業は、ハイスピードで発展してきました。町やオフィス、そして日々の生活の中で、目にして触れる住宅設備機器、それは安心と信頼の証であり、その飛躍的な発展はまさに目をみはるものがあります。安全で快適な住空間・生活空間の提供は私どもの願いです。

今後もさまざまなニーズに応え、より高い安全性と機能美・様式美あふれた商品の普及を通し、皆様に貢献していくため更なる躍進を目指しています。

また私達は事業拡大にも取り組み、売上目標をかざし全社員一丸となりチャレンジをしています！こうした事業活動の原動力は２０代から３０代の若手社員たちです。高いモチベーションを維持し、社員一同が同じ方向性で頑張っています！

あなたもカネマルで“チカラ”を発揮してみませんか。そして、次の世代を担う人材となって、カネマルをさらに盛り上げていってください！！

企業の強み

エンドユーザーに直結した営業で快適な住環境づくりを提案

アルミサッシや住宅設備機器、構造材、外壁など住宅に欠かせない、さまざまな商品を販売しているのが私たちカネマルです。

ここ数年は太陽光発電システムの販売でも実績を上げて来ました。活動領域は本社の立地する奈良県を中心に、大阪・京都など近畿一円。法人営業を

基本とする専門商社として高い信頼性を誇り、また、グループ会社では新築注文住宅やリフォームなどエンドユーザーに直結した営業も展開しています。このような住まいに関するバラエティ豊かな商材を扱い、ＢｔｏＢやＢｔｏＣなど幅広いネットワークを構築。業界のエキスパートとしてトップクラスの実績を誇っています。

企業 DATA

所 在 地： 奈良市八条町 464-3
Ｔ Ｅ Ｌ： 0742-30-2556
Ｆ Ａ Ｘ： 0742-30-3399
Ｈ Ｐ ： http://www.kanemaru.co.jp/
業 種 ： 住宅用建築資材を販売する総合商社
設 立 ： 1974 年 7 月
資 本 金： 4,000 万円
売 上 高： 43 億（2014 年 9 月）
従業員数： 75 名
代 表 者： 代表取締役 松吉 政弘

採用 DATA

初 任 給： 220,000 円
年間休日： 100 日
休日･休暇： 日曜、祝日、第 2・4 土曜、夏期休暇、年末年始
福利厚生： 各種社会保険完備、産休制度、育休制度、介護休職、定期健康診断、職場懇親会

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	9 人	7 人	4 人

目指す企業の姿

若手が活躍しているフラット＆オープンな会社！

カネマルでは一人ひとりが重要であり、なくてはならない存在です。一人ひとりの個性を尊重し、営業のやり方にも自分らしさを出すことができる。だからこそ活気に溢れ、躍動的なのです。

また、いろんな人との出会いを通し、そこから徐々に人間関係を築いていく。そこに営業のおもしろさ、楽しさがあるんです！“自分”らしさを発揮できる！そんな企業を目指します！

先輩社員からのメッセージ

営業の基本は、良好な人間関係を構築すること。気さくで人間味に溢れた工務店さんや職人さんが多いので、一度信頼されると次回から名指しで発注依頼を受けるケースが大半です。

営業は 10 人いれば、10 通りの営業スタイルがあります。
カネマルで働くおもしろさはそこにあります！

一日の仕事の流れ

- 8:00 出社
- 8:20 朝礼
- 8:30 ミーティング
- 8:45 デスクワーク
- 9:30 営業活動に出発～
- …… 新規開拓、得意先まわり、現場調査
- 17:00 打ち合わせ、集金、クレーム処理など
- 17:30 帰社、デスクワーク、翌日の準備など
- 退社

仕事内容紹介

「アルミ建材事業部　営業」

建設会社や工務店などに対して、サッシなどの住宅建材を提案・販売。また担当商材だけでなく、当社の強みは一棟の住宅に必要な住宅建材や設備を丸ごと提供出来るほどの豊富なアイテムをラインナップしているので、一棟プレゼンすることでお客様に安心して頂けること。担当エリアを訪問し新規のお客様の開拓に励んでいます。仕事のやりがいはやはり新規のお客様を何度も何度も訪問し契約を交わし商品を買って頂いた時はすごく喜びを感じられます。その喜びが次にも繋がり取引先を増やしていこうという、良いモチベーションで仕事に取り組むことが出来ています。

「外装建材　営業」

外装建材は家の外から見える外壁材を全般に取り扱っていますが、現在は当該部署の商品だけでなく全商品を提供・販売するようになり一層幅が広がり営業に力が入ります。仕事のやりがいは完成した家をみることです。自分が携わった家の近くを通った時に外観を見ることで、仕事の達成感とお客様への感謝の気持ちが沸いてきます。しかし、入社当初は右も左も分からない状態でしたので、先輩や上司の方々が分かりやすく営業や建築の知識、社会人の心得など丁寧に教えて頂きました。また、新人研修・勉強会などの教育環境も充実しているので、安心して仕事に取り組むことが出来ます。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

奈良学園大学　人間教育学部　２年 松本　奈々・１年 前田 千愛美

働きがい

私は、カネマル株式会社の方々にお話を聞く中で、とても魅力的だと感じたことがあります。それは、「未来にもずっと残る仕事」であるということです。お客様と相談しながら作ったものが、10年経っても、20年経っても形として残っているということになります。トイレやキッチン、屋根など沢山の建材を扱っていますが、これらのものは、家具とは違ってなかなか簡単に取り換えられるものではありません。だからこそ、お客様と相談して納得のいくものができた時は、やりがいを感じるとおっしゃっていました。

クレーム対応などの大変な仕事もありますが、お客様が喜んでくれたときは、やはり、「やって良かったと思う」と誇らしげにおっしゃっていました。誇りをもって、懸命にお客様と向き合っているからこそ、未来につながっていくのだと感じました。

職場の雰囲気

カネマル株式会社は、創業41年目を迎えました。松吉社長は、インタビューの中で「常に前へ」という言葉を何度も口にされていました。この言葉は、代々続いてきた伝統を守ると同時に、時代の流れに沿った新しいことにも挑戦していくという松吉社長の気持ちがこもっていると思います。そして、その気持ちは社内にも見られました。社内には、「基本」と書かれた今年度のスローガンが貼られていました。このスローガンは昨年度感じたことを元にして、年初めに松吉社長が考えられるそうです。この取組は松吉社長をはじめ、全営業エリア・全社員で目標に向かって進んでいこうという意志の表れであると思います。このようなスローガンの下で働くことができることに、とても魅力を感じました。

また、各事業の雰囲気もとても良いものであると伺いました。先輩後輩の垣根もなく、メリハリの効いた中で働かれています。その中で大切にされていることは、お客様との関係性だそうです。信頼していただけるよう挨拶などのコミュニケーションを心掛けておられるそうです。その姿勢は私たちに対するお話の中でも感じることができました。そのような部分はとても印象に残り、ぜひ見習いたいと思いました。

将来性

バブルの時代に170万戸あった家は、来年には88万戸になり、将来は50万戸にまで減少すると言われています。そのような中で、B TO Bではなく、B TO Cを推進していかなければならないとおっしゃっていました。業者に建材を売るだけでなく、自分で家を建てる方のお手伝いをするなど、新しいことを取り入れていくことで、カネマル株式会社は40年以上続く会社として今に存在していると思いました。

また、これからは、お客様が相談したいことがある時に、気軽にお店に来ていただけるような環境をつくりたいとおっしゃっていました。

川端運輸株式会社

豊かな運び手として社会に『貢献』します！

確かな技術と知恵をだし人々の暮らしに幸せと心とこころで結ぶ感動をお届けする使命をもって“豊かな運び手として社会に貢献します”弊社は食品輸送を中心に建築集成材や生活に関わる全ての輸送を担っています。安全を最優先に社員教育に注力して人として社会人として仕事を通して共に学び磨き合う社風づくりを目指しています。

社長からのメッセージ

代表取締役社長　川端 章代

我が社は陸上貨物輸送というトラック輸送ですが、国民生活のライフラインを支えて社会経済の発展に縁の下の力持ちという業界です。

どのような業界も社会的に必要な役割と使命があり、そこで働く人が自分たちのやっている仕事を通して誇りや、やり甲斐、そして何につながっていくのかを思える社風と土壌づくりをしたいと思っています。

人は誰しも今日より明日、そして未来に夢や希望がもてる生き方をしようと思うことが大切です。働く仲間と共に協力し合い、社会のお役にたつ人づくりに歩んでいきたいと思っています。

一般貨物輸送と地域密着業務として高齢化が進む社会へ、業界初・ヘルパーのいる引越屋さんシルバー住む～ぶも行っています。

日本の人口の約１ /4 が６５歳以上の現状には地域で求められる引越サービスや高齢に向けてのライフスタイルに応じたモノとココロの片づけ整理のご提案などもできるよう、運ぶことを通して社会的課題に役に立てるような会社を目指しています。

男性社会の業界でしたが、最近は女性ドライバーも多くなり、トラガールというネーミングで人気も出てきました。女性ならではの発想から男性とは違う視点で益々活躍していきます！

企業の強み

確かな技術で信頼・安心を積み重ねています！

大手物流会社で培ってきた輸送技術と、日々のコツコツと積み重ねてきた信頼を大切にした経営方針で社会に『役にたつ』人づくりを目指しています。

一般貨物輸送と社会的にこれからの問題課題である高齢者社会に向けての実情にシルバーサービス事業を行っています。

毎年、経営計画指針発表会を開催して、会社の現状報告と方向性を報告して、社員満足向上・顧客満足向上に全員参加で取り組んでいます。

安全衛生委員会・環境委員会での活動も活発に実践されて奈良で品質No.1を目指しています。

もう一つの柱としてアンジュ引越しセンターという高齢者さん向けの引越しサービスもしています。

高齢者に寄り添う引越サービスは地域の介護事業だけでなく地域包括支援センターのケアマネージャーさんなどからも地域の社会資源として求められている仕事です。

企業 DATA

所 在 地： 大和郡山市今国府町 690 番地
T E L ： 0743-59-6636
F A X ： 0743-59-0005
H P ： http://www.kawabataunyu.com/
業 種 ： 一般貨物運輸業・貨物取扱い業
設 立 ： 昭和 62 年 5 月 7 日
（創業 昭和 39 年 12 月）
資 本 金： 1,500 万円
売 上 高： 3 億円
従業員数： 26 名
代 表 者： 代表取締役社長　川端 章代

採用 DATA

初 任 給： 大 卒 180,000円/諸手当
短大卒 180,000円/諸手当
専門学校卒 180,000円/諸手当
高 卒 175,000円/諸手当
高等専修学校卒 175,000円/諸手当
年間休日： 80～92 日
休日･休暇： 日曜・祝日・夏季・年末年始・GW
福利厚生： 各種社会保険完備・健康診断・社員旅行・労働組合

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	3 人	2 人	3 人

目指す企業の姿

奈良で最も信頼される運送会社になる！

安全と安心を最優先に奈良で最も信頼できる会社になる！をスローガンに一人ひとりの社員が働き甲斐、やり甲斐のもてる企業を目指します。

経済活動の動脈にも匹敵する物流の役割に誇りと情熱をもって一人ひとりの能力を発揮し、向上心をもって経営者と社員一丸体制を目指します。

そして、アンジュ引越しサービスでは、これからの社会問題としてライフステージに応じた片づけ提案をさせていただきながら地域密着型企業としていきたいと思います。

先輩社員からのメッセージ

入社して感じたことは、社長と社員の距離感が絶妙なことです。アットホームな雰囲気の中に、厳しさのスパイスがピリッと効いています。

私は引越しの仕事をしていますが、優しさと技術に誇りを持ち作業をしています。体力的にも神経も使う大変な仕事ですが、その分無事に作業を終えてお客さまに「ありがとう！」と言って戴けた時の達成感は他では得られないものだと思っています。

一日の仕事の流れ

- 8:30 出社（事務所業務）
- 8:30 点呼〜作業前打ち合わせ：留意点など
- 9:00 現地到着〜ご近所ごあいさつ・作業開始
- …… 部屋の片づけ・整理・家具荷造り作業・運搬
- 12:00 昼休憩
- 作業終了次第 帰社後、片づけ業務
- …… 作業日報・報告事項
- …… 翌日の準備
- 17:00 退社

仕事内容紹介

アンジュ引越し作業

ご依頼あったお客様のお部屋へ出向き、荷物量や処分品の量などから見積もりを出します。

説明をしてご承諾いただいたら日にち、時間を決定します。当日は荷物や家具などの荷物を傷つけないように必要な備品準備をして現地到着後、ご近所ご挨拶や建物養生のあと、荷造りや処分品仕分け・搬出入・清掃・片づけ運搬を行います。帰社してから処分品片づけをします。荷造りや養生にはより良い技術を習得することと高齢者さんの特性や介護についての知識をもち、細心の安心と信頼を得られるようなサービスを展開しています。

トラックドライバー

小型・中型・大型トラックドライバー（関西一円・名古屋・岡山）食品・建築部材・飲料・雑貨などを製造工場～倉庫や問屋さんに輸送します。

配車マン

トラックの積地～卸地の手配や運行状況を計画してスムーズに運行の流れを状況判断して指示をだしていきます。

運行管理者

車輛の運行状況が交通ルールに沿って安全且つ迅速に行えるように、ドライバーの心身体調管理も含めて確認して管理します。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

奈良県立大学　地域創造学部　２年　山崎 由佳理

働きがい

川端運輸は『安全・環境』に取り組んでおり、お客様に信頼される会社作りを目指していると仰っていました。

天然ガス車の購入やデジタコの導入、廃棄物排出には減量目標を設定実施し、環境への負担の軽減に積極的かつ継続的に取り組んでいます。

会社では、危険予知トレーニングの実施やお客様アンケートの実施、毎月の個人面談の実施など、社員教育にも力を入れているので、社内で学ぶということが浸透している姿勢がとてもいいと思います。誰かの役に立つこと、頼られること、褒められることは人としての誇りのもとになるのだと仰っていて、そこからはただの運び屋ではないという誇りを感じられました。私はそこに働きがいを感じました。

職場の雰囲気

運送業は個々の働きが大きいため、職場での関係はそっけない、冷たそうというようなイメージを持っていました。ですが教育方針に受け身ではなく自主的な行動と実行力を持つ、人のことが考えられる仕事をする、やりがいのある会社にする一人として受け身ではなく自主的な行動力と実行力を持つ、とあるように皆さんが他の人のことを考えて仕事をしていることがとても感じられる雰囲気でした。

初めはバラバラだったのが、皆で協力するうちにお互いの意見を少しずつ言えるようになった、とおっしゃられていたことから、皆さんの連帯感が強く、温かい職場であることが感じられました。

将来性

川端運輸では、入ってくる人の技術ではなく、人間性を大事にしたいと考えられています。技術は後からでも磨くことができるので、まずは一人の人間として社会人として、どうあるべきかを会社の仲間と共に育ちあいたいと社長はおっしゃっていました。そのためには、やはりコミュニケーション能力や物事の解決能力が大切であるため、これからの若い世代の人々にはそこを一歩踏み出していくチャレンジ精神を持ってほしいそうです。

他にも、介護保険を使わずに高齢者の方の力仕事をお手伝いしたり、介護を必要とする方の高齢者施設へのご入居・ご退去の引っ越しサービスをする“シルバー住む～ぶ”にも力を入れていきたいと伺いました。ホームヘルパーのいる引越し屋は業界初だそうです。

会社だけでなくそこで働く人々が共に育っていこうとする姿勢に、この会社はこれからも続いていくだろうという強い将来性を感じました。

北野木材株式会社

LIFESTYLE　INNOVATION
～感動ある人生のために～
豊かな住環境を創造し続けます

北野木材は、昭和 3 年創業で 87 年の歴史を持つ会社です。しかし、時代の変化を受けとめ、常に新しい事に挑戦し続けています。企業理念では「LIFESTYLE　INNOVATION　感動ある人生のために」を掲げ、現在は、屋上庭園付木造住宅の提供を実現しました。多くの人々に、より豊かで快適な暮らしを提案し続けていきます。

代表取締役社長　北野 眞一郎

社長からのメッセージ

弊社では、住む人はもちろんのこと、建てる人・設計する人・部材を作る人・運ぶ人、関わる全ての人が、感動ある人生を送れるような企業を目指しています。

私は北野木材４代目の社長となりますが、一度は大手総合商社に勤めました。そこでは海外でのビジネスも経験させてもらい、目標を持つこと、それにチャレンジができること、失敗こそが学びとなること、が重要であることに気づきを得ました。

北野木材へ入社後は、老舗企業の保守的な環境を、なんとかチャレンジし続ける集団に変えるべく、制度改革、商品開発、異業種との合弁などを手がけ、奈良から全国へ発信できる会社になってきました。

まだまだ、時代の変化が大きく速くなっていく世の中に、失敗を恐れずチャレンジしていくことで、自分自身が成長し、世の中に貢献できる人材を輩出していくことが私の使命と感じております。

生きている時間の三分の一が仕事です。学生の皆様も、今までの常識にとらわれず、失敗を恐れず新しいことにチャレンジし続ける人生を送って頂きたいですね。苦難も多いですが、お客様の喜んでいる姿を見た時の感動は、人知れず大きなものですよ。

企業の強み

建築ビジネスのインフラを提供

商社としての資材販売力だけではなく、住宅を設計・施工・販売する工務店をグループ会社に持ち、さらにフランチャイズの本部として商品住宅を開発する機能を有しております。

今後は、各事業を通じて培った商品開発機能とビジネスノウハウを糧に、設備メーカーのように商品開発を自社で行ったり、施工のネットワークを強化することで、BtoB においても商社としての資材提供だけではなく、総合的な家づくりの提供ができるように、各事業の拡大と、さらなる事業開発に

取り組んでいます。

家づくりは、完成するまでに様々な技術、物、人が関わります。それら一連の流れを、部分ではなく総合的に扱える事は、今後より強みを増していくと考えています。

企業 DATA

所 在 地： 奈良市大安寺西３丁目８番 12 号
T E L ： 0742-33-7832
F A X ： 0742-33-7835
H P ： http://www.kitanomokuzai.com/
業 種 ： 木材卸売業・住宅販売・設計・施工
設 立 ： 創業 昭和３年
資 本 金： 1,000 万円
売 上 高： 17 億 6,300 万円（14 年９月期）
従業員数： 38 名
代 表 者： 代表取締役社長　北野 眞一郎

採用 DATA

初 任 給： 大 卒 200,000円/諸手当
年間休日： 105 日
休日･休暇： 土日祝
福利厚生： 各種社会保険完備、
退職金制度、制服貸与、
マイカー通勤OK（駐車場あり）

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	２人	６人	11 人

目指す企業の姿

「楽しさ」を通じて「育む」を追求し続ける

今、屋上庭園付木造住宅を提供させて頂いていますが、それは「楽しい家」の中で子供が育ち、家族のコミュニケーションを育むしかけをもっています。

今後も、より木造建築に特化し、性能、構造、だけでなく、ライフスタイルとしての、「楽しさ」を科学し、「育む（はぐくむ）」を目的とした建築物や建材、サービスを開発し続けていきます。

そして、多くの人々に、より豊かで快適な暮らしための幅広いソリューションを提供していくために、私たちは住環境における新しい価値創造を追求し続けます。

先輩社員からのメッセージ

身近に経営者がいることで、仕事の全体感が見えてきやすいのは、中小企業ならではの魅力だと感じます。

勿論、１人に任される仕事の範囲は広くなります。それによって、壁にぶつかることは日常茶飯事です。それでも、「やりたいこと」を会社と共に発見でき、乗り越えていけることに一番のやりがいを感じています。

一日の仕事の流れ

8:00	8:30	9:30	9:45	12:00	13:00	15:00	15:30	17:30
出社、社内清掃	全体朝礼、TODA確認	部署朝礼、メンバーへの情報共有	メール･電話対応、資料作成	昼休憩	メール･電話対応、業務の進捗確認	部門会議（週1×3部門）	メール･電話対応、会議での課題実行	退社

仕事内容紹介

プラスワンリビングハウス事業

「北野木材」という会社ではありますが、実は屋上のある木造住宅「プラスワンリビングハウス」の資材提供も行っています。

全国にある「プラスワンリビングハウス」の建築現場への資材を発注する業務、「プラスワンリビングハウス」の設計を請け負う業務など、家を建てる一連の業務を担っています。

アフターメンテナンス窓口

全国に建築され、お引き渡しされた「プラスワンリビングハウス」のアフターメンテナンス受付窓口を担っています。

実際に修理の手として動くわけではありませんが、全国のパートナー様（工務店様）からのお問い合わせに対応しています。

資材の発注からメーカーへのメンテナンス発注まで、幅広いアフターフォローを行っています。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

帝塚山大学　経済、人文、経営学部　３年
浅田 真佐彦・松田 莉奈・伊藤 翔太

働きがい

北野木材さんを取材させていただき、働いている中で働きがいについて感じ、教えていただいたことがありました。それは、感動は２つの定義から成り立っているということです。

１つ目として自分自身が成長するためにたくさんの失敗が経験できる場を与える。この中で私は、こういった失敗の経験があったため、自分自身がしっかりとできたときには感動できるのだと思います。

２つ目に他人の為に生きられたか、お客様に喜んでもらえたか、相手に貢献し、その対価をもらうことです。しっかりとした仕事をすることによって、お客様に心地よく過ごすことができる空間を提供し、喜んでもらうことによって、働きがいが生まれるのではないかなと感じました。

以上の点に関して私は働きがいを感じました。

職場の雰囲気

北野木材さんの職場の雰囲気に関して、感じたことは、1つ目の特徴と致しまして、どのような人が入社しても良い雰囲気を作れる職場だと思います。これはバランスを考えたやり方ができる中小企業ならではの雰囲気だからこそ、できることなのではないかなと感じました。

２つ目は、北野木材さんに来る人には、異業種の方が多いという特徴があり、そのため、いろいろな人たちとの中での「輪」というものが広がることによって、日ごろから和気あいあいとしつつも、決して楽と言う意味ではなく、しっかりと仕事をこなしている中で職場での空気に馴染んでいくのではないかと感じました。

職場の雰囲気で辞める人もいる中でこういった北野木材さんのような会社はとても雰囲気の良い会社だと感じました。

将来性

北野木材さんを見学し、将来性を感じた点は３つあります。

１つ目は、スマートフォンなどの大手企業が全体を占めているものに比べて

大手企業が25％で残りを中小企業が占めているため、中小企業が活躍できる割合が高いという点です。

２つ目は、これから将来日本は高齢化が進み、既存の建物を高齢者向けの建物に改築する「リフォーム」が増加していき、私たちが１０年後には戸建てなども発展していき、それに合わせて企業も発展していくことと、北野木材さんは、『プラスワンリビングハウス』という事業で屋上庭園を手掛けるという他社とは違う独自性を感じられた点です。

そして最後の３つ目として、ハウスメーカーと比べると材料を直接仕入れられることや、他の木材会社と比べると建築や販売など家を一軒作ることができるといった強みを持っている点です。以上の三点により将来性を感じました。

株式会社栗原製作所

鶏卵パック専門メーカー

当社はペットボトルの再生品を原料に鶏卵パックのみを製造・販売している鶏卵パックのトップメーカーです。お客様からの要望に応え何百種類もの鶏卵パックを北海道から沖縄まで日本全国に発送しております。

代表取締役　栗原　照次郎

社長からのメッセージ

プラスチック素材の鶏卵パックを作り始めて 50 年以上になります。この 50 年間に社会の変化も大きく、その変化を先読みしながら、問屋を通さず直販を行い、他社に先駆けて素材の転換を図り、また鶏卵パックのシートから鶏卵パックの成型までの一貫体制を構築し成長して参りました。

日頃、当社の社員には「社長になった気持ちになれ」といつも言っています。社員一人一人が社長の気持ちになって努力し、やる気を出せば、会社全体が活気づくと思うからです。

またこれから社会に出る若者には、もっと成功欲・出世欲を持って働いていただきたいとも思っております。

当社の鶏卵パックは消費者の方に直接販売することはありませんが、必ず皆様のご家庭の冷蔵庫には入っている商品です。生活に密着した必需品だと思っております。

私の座右の銘である「人生には勇気と努力と忍耐が必要である」を基に今後もお客様のニーズにお応えする商品を社員と共に提供し続ける所存です。

企業の強み

お客様満足が第一

当社の鶏卵パックはペットボトルの再生品を使用しています。各家庭から出された使用済みペットボトルを自治体が回収し、業者が洗浄加工を行った原料を買い取り鶏卵パックにリサイクルしております。

ペットボトル再生原料から鶏卵パックのシートを作り、成型を行なうという一貫体制を作り上げました。

また、Q（クオリティ）「より良い商品を」·C（コスト）「より安く」·D（デリバリィ）「より速く出荷」·V（バラエティ）「多くの種類を揃える」を経営方針として掲げております。

卵という「なま物」の包装容器ですので、ご注文から納品までを最速に行う努力を日々心掛けております。

中小企業ならではの小回りのきく対応で、お客様満足を第一に鶏卵パックを作り続けています。

企業 DATA

所 在 地： 大和郡山市池沢町 90-8
T E L ： 0743-56-2207
F A X ： 0743-56-2217
H P ： http://www.pack-kurihara.co.jp/
業 種 ： 鶏卵パック製造・販売
設 立 ： 昭和 44 年 12 月
資 本 金： 4,050 万円
売 上 高： 46 億 3,000 万円
従業員数： 125 名
代 表 者： 代表取締役 栗原 照次郎

採用 DATA

初 任 給： 大 卒 175,000円+諸手当約 50,000円
年間休日： 121 日
休日·休暇： 年末年始、夏季
福利厚生： 各種社会保険完備

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	9 人	9 人	5 人

目指す企業の姿

鶏卵パックなら何でも揃う「オンリーワン」企業

現在は小売用鶏卵パックが主流ですが、業務用鶏卵トレーの開発も行っております。

現在業務用の卵は段ボール箱などに入っておりますが、当社では段ボールを使用しないプラスチック素材のシュリンク包装鶏卵パックトレーの提案を行っております。

業務用の卵の消費は、市場全体の 3 ～ 4 割程度あり有望な市場です。

衛生的で冷蔵庫でも保管出来る当社の業務用鶏卵トレーにも力を入れて行きたいと思っております。

先輩社員からのメッセージ

直接皆様に関わる仕事ではありませんが、皆様の生活を支える製品を作っているという自負があります。

また、当社は社員自ら意見を発信し易い環境作りを心掛けておりますので、あなたの頑張りが大きな結果に繋がるかもしれません。

そんな陰ながら生活のお役にたてる仕事を一緒にしませんか。

一日の仕事の流れ

8:45	出社
8:50	事務所内 受け持ち場所の清掃
9:00	メールチェック
……	お得意先様からの問い合わせへの対応
12:00	昼休憩
13:00	引き続き お客様からの問い合わせへの対応
16:00	その日の受注（注文）や手配（商品の納期・発送便）の確認
17:00	終業後の問い合わせの対応
18:00	退社

仕事内容紹介

担当エリアのお客様の対応及び訪問

私達営業課では、日々お客様から様様なお問い合わせを頂いています。各営業に担当エリアが振り分けられているので、それぞれの担当のお客様のお問い合わせに対して、各営業マンがお客様のご希望を把握し、製品の提案や、問題の解決などを行っています。

また、電話やメールだけでなく、各お客様のもとへ足を運ぶのも我々営業課の重要な仕事です。

お客様と直接話をし、使用して頂いてる製品に不具合が無いか、また、付近の情報の収集や提供など、細やかなお客様へのケアを日々の業務として行っています。

卵パックを形づけるのは私です

奈良県で卵パックを作っているメーカーがあるのを知りませんでした。

製造部に入社をし、ペットボトルの再生品のシートから真空成型機で卵パックの形づけを行い卵パックを製造しています。

日々おなじ作業の繰り返しですが、日常生活に絶対必要な物を作っていると自負を持ち、不良品が混ざっていないか、異物混入がないかと毎日検品作業をこなしています。

スーパーに買い物に行くと、並んでいるパックをついつい手に取って私の作ったパックがどうか確かめたくなります。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

畿央大学　健康科学部　２年　杉原 ひかり

働きがい

栗原製作所では【Q：クオリティ　C：コスト　D：デリバリー　V：バラエティ）】という経営方針を大切にされていました。

お客様に「より良い商品を、より安く、より速く出荷、多くの種類を揃えることでお客様のニーズにお応えされているそうです。

お客様のご期待にお応えすることがやりがいになるのだと感じました。

塩化ビニールを焼却するとダイオキシンが発生するので原材料を塩化ビニールからＡＰＥＴやペットボトルをリサイクルした原材料に切り替えるなど、どこの企業より早く目をつけたことで、今の卵パックがあり、あの時勇気を出して、そして努力してよかったという

社長のお言葉が印象に残っています。

企業が存続するためにどうすれば良いかを分析、判断する重要性を肌で感じました。

職場の雰囲気

規模の大きな会社ではないので、ほとんどの人が顔見知りで和気藹々としていると、従業員の方がおっしゃっていました。

製作所を見学させていただいた時も、学生に対して挨拶をしていただけたり、作業中でも親身に私たちに説明していただいたり、従業員同士の雰囲気もすごく穏やかで、働きやすそうな環境だと感じました。長く働く上で職場の雰囲気は大切だと感じました。

将来性

「自分の器を見越して今の卵パックを守る」と栗原社長はおっしゃっていました。

何事も自分の器の大きさを知ること、自分自身のボーダーラインをしっかりと把握することが大切なのだと教えていただきました。いろいろなパックの製造をするなど事業を拡げず、卵パックの製造を自社で一貫して取り組む、これこそが着実に業績を伸ばした要因だともおっしゃっていました。

日本一を守るために、これからもどこの会社にも負けない、よりよい卵パックを追及されると思います。

株式会社三光丸

和漢健胃薬三光丸は、700 年の長きにわたり人々の胃腸と健康を守り続けています

株式会社三光丸は、創業以来およそ 700 年もの間、健胃薬『三光丸』を作り続け、置き薬として全国のご家庭で愛用いただき、皆様に健康と安心をお届けしてまいりました。
私たちは『人々の胃腸を守り、健康づくりに貢献すること』が使命と考え、伝統を大切にしながらも、常に革新を求める精神で取り組んでいます。

代表取締役社長　米田 豊高

社長からのメッセージ

弊社は「和漢健胃薬三光丸」一品だけを製造販売している珍しい会社です。

三光丸は約 700 年前から製造されている日本で最も古い胃腸薬のひとつと言われています。

弊社はその三光丸を製造する環境にもこだわっています。自然溢れる「森の中の工場」をイメージするために敷地内にあえて植栽を増やしたり、歴史は古いが設備や考え方は新しい「古くて新しい企業」にしていくために意見箱を設置して日々改善を行っています。

商品を正しく製造・販売してお客様の健康を守ることが第一と考えています。そのためには、全社員がお客様（お得意様）から「さすが三光丸」と言われるようになってほしい。それには、心地よい職場・お客様には心地よい印象を持っていただけるようにする必要があります。

マニュアルどおりに仕事をこなすのではなく、つねに自ら考え周囲の意見も聞き積極的に行動する社員であってほしいと考えています。

仕事の能力は後からでも身に付けることはできます。誠実に人と関わることが一番大事なのではないでしょうか。

企業の強み

伝統を守り明日を目指す“古くて新しい”会社

『三光丸』は後醍醐天皇に名を賜ったと伝えられている 700 年の歴史を持つ大和地方発祥の健胃薬です。その製法は当社のみが受け継ぎ、今日まで製造販売してきました。

全国への販売網を築き、生薬ならではの穏やかで確実な効き目と胃腸自体の治癒力を高める自然の力を訴求することによって、日本全国の家庭常備薬として確固たる地位を築いています。

包装方法についても常に改善を加え、持ち運びの利便性と品質保持を追求した結果、100 年ぶりにコンパクトなシートタイプの内袋を編み出すなど、常に明日を見据えた薬づくりを目指しています。

消費者と常に向き合い対話する中で得た販売ノウハウや原料から加工・製造にこだわった、安心安全の自社生産も強みです。

企業 DATA

所 在 地： 御所市今住 700 番地の 1
T E L ： 0745-67-0003
F A X ： 0745-67-9003
H P ： http://www.sankogan.co.jp/
業 種 ： 卸売・小売業
設 立 ： 1947 年設立（1319 年創業）
資 本 金： 4,800 万円
売 上 高： 888,661,878 円
従業員数： 110 名
代 表 者： 代表取締役社長 米田 豊高

採用 DATA

初 任 給： 大 卒 170,000円~180,000円/諸手当
短大卒 165,000円~175,000円/諸手当
専門学校卒 165,000円~175,000円/諸手当
高 卒 160,000円~170,000円/諸手当
高等学校卒 160,000円~170,000円/諸手当
年間休日： 119 日
休日･休暇： 有給休暇（法定通り）・特別休暇
福利厚生： 各種社会保険完備、退職金・持株会（入社 3 年以上）、財形（入社 3 ヵ月以上）、決算賞与（業績による）

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	1 人	5 人	8 人

目指す企業の姿

すべての人と三光丸の出会いを実現させたい

当社は約 700 年『三光丸』をつくり続け、守り続けてきた企業です。

日本全国のご家庭の常備薬としてご提供する事を代々の使命とし、『暮らしのすぐそばで、ずっと健やかな笑顔を見守ってゆく企業』としてお役に立っています。

当社は今後の 700 年を見据え、少子高齢化が進む我が国はもちろんのこと、日本古来の生薬『三光丸』をお使いいただくことで『これから発展する世界のお客様の暮らしのすぐそばで、ずっと健やかな笑顔を見守ってゆく企業』となることを目指しています。

先輩社員からのメッセージ

入社して 11 年目になります。そこで感じた事は「やってみる事、体感する事」です。

私は以前、配置部（営業）に所属していました。現在は総務部ですが、製造部にも研修で入らせて頂きました。

その中で社員全員「作る・売る」中での三光丸へのこだわりなど、今まで見えなかったものが見え、仕事の幅と世界が広がりました。

一日の仕事の流れ

8:15	8:30	9:00	11:00	12:00	12:45	14:00	17:00	17:15
出社、メールチェック	敷地内清掃	注文量チェック	商品出荷前の伝票チェック	昼休憩	メールチェック	商品梱包	明日の予定確認	退社前メールチェック

仕事内容紹介

製造部員

生薬と呼ばれる天然物由来の植物性原料を自社プラントで粉末やエキスに加工し、丸薬を包装する最終製品に至るまで一貫生産を行っています。

製造工程では、GMP といわれる安全、衛生基準の環境の下、工程ごとに部屋で仕切られ、ほとんどの作業が自動化され、最新の設備で薬が作られています。

安定した品質づくりのため、最新の分析機器を使って有効成分の含有量を始めとして生産段階はもちろん、生薬原料の一つに至るまで入念な理化学試験を行い、信頼される製品づくりに力を入れています。

配置部員

和漢胃腸薬『三光丸』や健康食品などを一般家庭に置かせていただくお仕事です。

1 人当たり 1,000 件程の顧客を担当し顧客の健康アドバイスや季節に合った情報提供を行います。

研修制度は、OJT や座学・資質向上研修・入社 2 年未満は年 4 回の新人研修会などの充実した学習環境で安心して必要な知識を習得できます。

お客様を通して自分自身も成長でき、お客様との信頼関係が構築出来ていく過程がやりがいに繋がります。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

奈良県立大学　地域創造学部　２年
山崎 由佳理

働きがい

働きがいを感じるときについて伺うと、「よく効く」と言ってもらえた時など、お客様に喜んでもらえた時だと仰っていました。

人の体にやさしく、幅広い年齢層が利用することができるため、１３００年頃から代々受け継がれ、薬の製法も昔とほとんど変わっていません。

製丸や充填の方法は進化させても中身を変える必要はありませんでした。そこからはそれだけ多くの人がそれだけ長い間守り続けてきたということが分かり、大変すばらしいことだと思います。

できるだけ自然のものを食べ、環境への負担が少ないものを使い、自然のリズムで生きたいと考える人が増える中、吟味された良質な原料を加工から製造・包装に至るまで一貫生産しているところからも、三光丸をこれからも後の世へ伝えていこうとする気持ちが感じられました。

職場の雰囲気

三光丸の会社は山近くに位置しているため、少し閉鎖的な印象がありましたが、中が見えるように改築された工場や資料館からは開放的な雰囲気を感じました。

職場の事務方ではほとんどが女性で同世代が多く、穏やかな雰囲気であるため、日々改善点などをお互いに話し合っていると伺いました。

また、工場では衛生面に特に注意しなければならないため、決められたことを黙々とする必要があり、そのため几帳面な人が多いですが、休憩中は和気藹々としているそうです。

工場を案内してくれた方の製造過程の説明もとても丁寧できっちりとした印象を抱きました。

社内ではボーリングやソフトボールなどのサークルもあり、皆で垣根の超えた付き合いのできる温かい職場であると感じました。

将来性

三光丸は、元は「紫微垣丸」という名で作られていたのが、後醍醐天皇により「三光丸」と名付けられたといいます。

その後、現在まで製法はほとんど変わらないまま多くの人々の手によって支えられ、残されてきました。

今現在、薬の業界自体が縮小し、得意先や業界の売り上げが下がってきているため、販売のためのルートを広げたいそうです。

海外ではアジア地域などで薬局での店頭販売などを考えているそうですが、Made in Japanの薬としてアピールしていくため、また大量生産による価格や価値の低下を防ぐためにも、うかつな大量の三光丸の製造、流通はできないと仰っていました。

良いものは、いつの時代も良いという考えを真理とし、７００年近く続いてきた伝統を守りながらも、世界へと目を向けていくその姿勢に大きな将来性を感じました。

株式会社昭和

奈良県の小さな会社が地球の環境回復にチャレンジしています

２０世紀、私たちの生活は劇的な変化を遂げました。さまざまな分野の科学技術の発達で、私たちは快適で、早くて、便利な社会を実現しました。ただ、その代償は大きく我々の未来にのしかかってきています。CO2 の過剰排出による気候変動や化学物質の拡散、高レベル核廃棄物の処理など、私たちは深刻な問題に直面しています。株式会社昭和はチタンの優れた特性を活かして、これらの問題解決に工業技術で真っ向から取り組んでいます。

代表取締役社長　髙安 輝樹

社長からのメッセージ

学生、求職者の皆さんへ

私たち株式会社昭和は世界でも数少ない金属チタン加工の専門メーカーです。

「軽く」「強く」「錆びない」という金属の中でも最強の特性を持つチタン。

私たちはこの素材の持つ大きな可能性を活かして環境技術を開発する企業です。

たとえば、自然環境では分解が困難な化学物質を完全に無害化する「酸化チタン光触媒技術」、現代の技術では無害化出来ない核廃棄物を半永久的に閉じ込めておくための「チタンライニング技術」、二酸化炭素や廃棄物を一切出さない安価で高い効率の「チタン太陽電池技術」。私たちは工業分野から環境問題にアプローチする先端技術企業なのです。

私たちの会社には文系、理系を問わず様々な分野の人たちが働いています。

国内海外に全く新しい技術や考えを伝えるために、いろいろな才能が必要なのです。

たとえば周りの空気を和やかにさせる人なども私たちにとっては大切な才能のひとつです。

奈良の地から世界に新たな工業のかたちを発信するお仕事をご一緒にしませんか。

企業の強み

世界初の技術を持つ奈良の先端企業

私達は国内外に 81 件の特許を取得しています。どこの企業の下請けもせずに独自の技術で私たちの会社は成り立っています。

私達の技術開発は、国の様々な助成や補助を受けています。

平成１８年度経済産業省　第１回「元気なものづくり中小企業３００社」表彰採択。

中小企業庁「モノづくり中小企業製品開発等支援事業」で平成２１年度は大型の酸化チタン光触媒の技術が採択、平成２５年度はチタンライニング技術

が採択、平成２６年度は新型酸化チタン光触媒技術が採択、平成２７年度は集光型チタン太陽電池の開発が採択。経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」で平成２２年度（～３年間）はチタン太陽電池の開発が採択、平成２７年度（～３年間）は高性能チタン太陽電池技術が採択。

私達の技術開発には、我国の科学技術の未来が託されているのです。

企業 DATA

所 在 地：生駒市北田原町 2443-1
T E L：0743-72-0743
F A X：0743-72-0744
H P：http://www.showa-titan.com
業　種：非鉄金属（チタン）加工
設　立：昭和 42 年 1 月
資 本 金：9,185 万円
売 上 高：12 億 6 千万円
従業員数：39 名
代 表 者：代表取締役社長　髙安 輝樹

採用 DATA

初 任 給：大　卒 200,000円+諸手当
短大卒 180,000円+諸手当
専門学卒 180,000円+諸手当
高　卒 160,000円+諸手当
高専卒 160,000円+諸手当
年間休日：125 日
休日･休暇：慶弔・誕生日休暇
福利厚生：各種社会保険完備・財形貯蓄制度・団体生命保険制度・保養制度

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採 用 人 数	２人	２人	１人

目指す企業の姿

奈良発　人類の明るい未来計画

私たちはここ奈良の地で、世界初の技術を発信し続けています。

その技術は人びとを快適にしたり、気持ちよくしたり、スピードを競うものではありません。

これから百年千年後の人類が安心して生きていけるための「環境回復技術」なのです。

千三百年の時を経た古都から次の千三百年を見据えて新たな工業技術をひたすら開発しています。

先輩社員からのメッセージ

営業事務という仕事は、営業スタッフと顧客を結ぶ架け橋のような役割です。

お客様に満足いただくためには、営業スタッフが迅速でミスのない営業活動が出来ることが第一と考えています。その対策としてお客様からの電話内容を営業スタッフへ的確に伝え、迅速な対応を目指してフォローしています。

電話対応だけでしか接する機会がないお客様からも直接感謝の言葉を頂けるので、とてもやりがいを感じています。

一日の仕事の流れ

9:00	9:30	10:30	12:00	13:00	15:30	17:45
朝礼、メールチェック	受注入力作業	お客様電話対応	昼休憩	売上入力作業	営業資料作成	退社

仕事内容紹介

製造部門

営業部より発行された製造指図書や添付された図面、仕様書、製品規格などに基き製品を生産しています。

特別工程である溶接業務は、認定基準を満たした有資格者が従事しています。

また、生産向上、原価管理、品質向上、納期短縮を推進すると同時に安全管理についても周知徹底する様に努めています。

お客様より信頼と満足を得る品質を提供すると共に継続的改善を行っています。

品質管理

社内標準化と品質管理を適正に推進するために、検査基準に従い、検査を行い、品質維持管理を行うと共に、検査によって得た品質情報を関係部門にフィードバックし、品質のレベルアップを図っています。

その他、各部署における社内標準化及び品質管理の実施に関する計画の立案及び推進に関する事や社内規格の制定及び改訂等に関する事、製品の不具合・クレーム処理に関する事を行っています。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

奈良学園大学　人間教育学部　２年 末次 真結

株式会社昭和は、チタンを用いて製品を生産している会社です。チタンが持つ数々の優れた特性や無限ともいえる可能性を追究し、製品開発に取り組んでこられました。このことも踏まえ、社長さんのお話しを聞かせていただき感じたことを、働きがい・職場の雰囲気・将来性の3つに分けて述べます。

働きがい

今回、髙安社長から会社概要の説明を聞いた後、工場の見学もさせていただきました。

工場では、生産部門と研究開発部門に分かれており、生産部門では、完成したチタン部品の品質を手作業で一つ一つ確認し、定められた大きさに切断するなど、大変集中力を要する作業が行われていました。

研究開発部門では、チタン製品の特長を活かした製品開発が進められており、室内には巨大な設備がいくつも設置され、専門知識を持つ社員の方々から丁寧な説明を受けました。

株式会社昭和は、取得が難しい「第一種圧力容器製造許可」や「高圧ガス製造設備」の使用許可も有しておられ、社員の研究開発に対する意欲によって現在81個の特許を保持しています。

世界で通用する技術を持っているということが、社員一人ひとりのやる気と誇りにつながっていると思いました。

職場の雰囲気

職場の雰囲気では、髙安社長と従業員の方々が大変打ち解けて会話をされておられ、温かい人間関係を感じることができました。

髙安社長は、「第一に、社員がうちの会社を選んでくれたことに感謝している。社員の気持ちに応えられるような会社を作っていきたい」とおっしゃっていて、社員の方々に対する敬意を常に持ち、人を大切にすることが良い会社を創る上で最も重要なことであると思いました。

また、髙安社長の社員の方々に対する接し方は、単に優しいだけでなく、大変メリハリがありました。社長室に通していただいた際、名刺交換の方法から教えていただき、社会人としてのマナーやルールについてもお話しをしてくださいました。

髙安社長の誰に対しても敬意を持って、同じ態度で接するということが社員の方々にも伝わり、良い人間関係が育まれているのだと思いました。

将来性

株式会社昭和は、「チタンで豊かな社会を築く」をテーマとし、チタンの「軽い」「強い」「さびにくい」という3つの特性を最大限に活かすため、日々、製品の製造・開発をされています。

チタンを使って“生活を守るもの”“永遠に壊れないもの”を目指し、世界で役立つ技術の開発が行われています。

チタンという一つの素材から多くの製品技術を開発するには、高い技術力も必要ですが、何よりも社員の方々の根気強さや新しい製品を開発しようと挑戦する意欲が大切であるということを学ぶことができました。

髙安社長と社員の方々によって、今後も世界から必要とされる会社へと成長し続けると思います。

株式会社ダイドー

商品価値を最大限に高めるパッケージ

昭和 6 年の創業以来、包装紙の製造・販売を行っています。包装紙は、ただ商品を守り、品質を維持するだけではありません。商品の魅力を最大限にアピールできる、商品の「顔」と言うにふさわしいパッケージの製造を常に目指しています。

代表取締役社長　髙桑 真樹

社長からのメッセージ

昭和 6 年の創業以来、コンビニやスーパーで目にする誰もが見覚えのある身近な食品包装紙を中心に、商品の顔となり、もの選びの材料となって日々の暮らしを支えるパッケージの製造販売を行っています。

年々、弊社の顧客である食品業界からの品質要求は厳しくなっていますが、お客様のニーズにお応え出来るように、「安心で安全で確かな品質」を念頭に、機械の設備更新・製造時の品質管理に取り組んでいます。同時に今まで誰も見たことが無いような「商品の魅力を消費者にまで伝える包装製品」の開発を目指し、発想力豊かな若手スタッフを中心に開発力・提案力の育成にも力を入れています。

創業 100 年の節目に向けて、今期には最新鋭のグラビア印刷機の導入を検討しており、今後も設備の更新、増設等々を計画的に進めていきます。

人材面にも力を入れて次の世代を背負って行く優秀な若手スタッフとともに、業界をリード出来る企業作りを目指していきたいと考えています。

企業の強み

希少な伝統技術を継承し、新たなステージへ

弊社は 84 年前「大同蝋紙所」として創業しました。当時、食品包装紙の素材の主流は“紙”であり、紙に蝋をワックスコーティングした“蝋紙”は、食品の品質を守るために欠かせない機能性包装紙のはしりでした。

時代の変化と共に包装紙の主流は紙から“プラスチックフィルム”に取って代わりましたが、弊社は現在も昔ながらのワックス加工の技術を受け継いでいます。それは、“やわらかな風合いや繊細な質感”“食品との

「くっつき」を防止する機能”などワックスでしか出せない良さがあるからです。

ワックスを扱う会社は、全国でも限られた工場で受け継がれるのみになってしまいましたが、希少価値の高さに加え、環境に優しい包装としても今また注目を集めています。

企業 DATA

所 在 地： 生駒市北田原町 1826-1
T E L ： 0743-79-9800
F A X ： 0743-79-9822
H P ： http://daido-package.jp/
業 種 ： 製造業
設 立 ： 昭和 29 年 3 月 1 日
（創業 昭和 6 年 8 月 26 日）
資 本 金： 3,000 万円
売 上 高： 30 億円
従業員数： 97 名
代 表 者： 代表取締役社長 髙桑 真樹

採用 DATA

初 任 給： 大 卒 183,000円/諸手当(皆勤手当)2,500円
短大卒 165,000円/諸手当(皆勤手当)2,500円
高 卒 155,000円/諸手当(皆勤手当)2,500円
年間休日： 106 日
休日･休暇： 週休二日（土曜日は月 1、2 回出勤有）
福利厚生： 各種社会保険完備

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採 用 人 数	4 人	7 人	6 人

目指す企業の姿

感謝の気持ちを届けることができる企業に

中国の言葉にある「喝水不忘掘井人」ー水を飲む時は最初に井戸を掘った人達に感謝の気持ちを忘れてはならないーと言う言葉を創業の志とし、「感謝の気持ち」を持ち続ける事を基本理念としてきました。

この理念を一つ一つの製品でお客様にお届けし、満足していただく。

その結果、お客様から頂ける「ありがとう」のお声が、社員の仕事の働き甲斐や楽しみに繋がっています。

今後も、その姿勢を大切に、お客様に感謝の気持ちを届けることができる企業を目指します。

先輩社員からのメッセージ

営業部の主な仕事内容は食品メーカー・商社様を訪問し、商品のコンセプトに合わせてデザイン・フィルムの材質を提案し、仕事を受注する事です。この仕事の魅力は 自分の提案が採用された商品が、店頭に並んで発売されているのを見かけたときにとてもやりがいを感じます。

一日の仕事の流れ

8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	14:00	17:30	18:00
朝礼･ミーティング	メールチェック	社内事務作業（見積もり等）	昼休憩	外回り	商談･新商品の入稿	帰社･報告書作成	退社

仕事内容紹介

印刷

食品包装紙の印刷品質は、コンマ数ミリの誤差も許されない印刷の柄合わせやリピート毎に同じ色での再現が求められます。

分速 200 メートル以上のスピードで刷られる印刷物の加工条件は、常に変化しており、柄合わせや色の変化はオペレーターの手によって制御されています。

弊社では、最新鋭の 10 色グラビア印刷機と長年継承してきた高度な印刷技術により、お客様の厳しい要求にも応えることが出来ます。思わず手に取りたくなるような魅力のある印刷物をより速く、より経済的に創り出します。

生産管理業務

生産管理業務は、製品納期を管理し、製造の各部署に指示を出す工場の司令塔の役割です。

食品包装紙の生産工程には印刷工程の他、別機能を持ったフィルム同士を貼りあわせるラミネート加工やチャック付きの袋や自立する袋を作る製袋工程など多種にわたります。

製造される製品毎に機械スピードや生産数が変化しますが、それらを加味し、徹底的にロスタイムを削った生産予定を組みあげることで、お客様に満足していただける価格と納期の実現を目指しています。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

奈良学園大学　人間教育学部　1 年　谷脇 菜央・井川 瑞穂

株式会社ダイドーは、会社のモットーに「心を包み、開く力へ」を掲げ、商品の顔というべきパッケージを製造されている会社です。昭和6年に中国の上海で創業し、今年で84周年を迎えました。工場見学の際には、私たちが普段よく目にしているお菓子のパッケージの製造過程を見ることができました。

働きがい

スーパーやコンビニエンスストアには、数多くの商品が並んでいます。私たちが商品を選ぶ際、まず目に入るものは包装紙であり、これは、購入する際の大きな判断材料となっていると言えます。

工場内では、食品を扱っていることから、衛生管理は徹底されており、白色の帽子とつなぎの服を着て見学をさせていただきました。働きがいでは、1つの物をみんなで作り、それが形となって店頭に並ぶ姿を見たり、仕事の結果である売上目標を達成できた時に喜びを感じるとおっしゃっていました。

職場の雰囲気

食品を扱うため、工場内は虫が入らないようにドアの隙間をしっかりと塞いだり、虫がくる原因となる太陽の光も遮断フィルムを貼るなどして、徹底的に衛生管理がされていました。社長様は、「多

くの機械が設置されている工場内での作業は、危険を伴うこともありますが、全員が無事故・無怪我でしっかりと働いて、何よりも笑顔で帰ってもらうことが大切です」とおっしゃっていました。また、会社の基本姿勢として、「ありがとう（感謝）、すみません（反省）、どうぞ（謙虚）、なにがなんでも（責任）」の言葉が掲げられ、この精神をとても大切にされていることがわかりました。日頃から、良い人間関係を構築するために、ボーリング大会やバーベキューなどの行事も定期的に実施され、仕事以外の個人的な話もできる環境を作っておられました。社員の方々がいきいきと明るく仕事をされている姿を見て、社員間の親睦が深いからこそ、互いを信頼してチームで仕事ができるのだと感じることができました。

将来性

パッケージの印刷技術では、普通の印刷とは違った1色ずつインクを重ねるグラビア印刷を採用し、普通の印刷よりも注文が多くなってきたとおっしゃっていました。これも営業努力のたまものであると思いました。営業部の入社2年目の方は、「自分の得意先を増やしていくこと、始まりは営業から」とおっしゃっており、自社製品が他社製品よりもどこが優れているのかを常に研究しながら営業をされていると思いました。また、目標は、「みんなで100周年記念を迎えること」と答えて下さり、会社に対する愛着や思いを社員の方々から感じることができました。これからも100年、200年と受け継がれていく企業だと思います。

株式会社ナカガワ

一人一人の成長は会社の成長に !!
会社の成長は一人一人の幸せに !!

人々の暮らしのまわりで私たちの取り扱う製品は活躍しています。生活空間をより快適にして頂くための製品を地域密着でお客様にご提案し、より豊かな人間環境の創造に貢献する。それが私たちのテーマです。

代表取締役社長　中川 基成

社長からのメッセージ

おかげさまで創業 95 年、当社は配管資材部門を基盤としてスタートし、総合住宅設備機器商社へと発展･成長。関連部門の拡充や人材育成、設備投資にも積極的に取り組んできました。

その間、当社が変わらず大切にし続けてきたのは、「誠実さ」です。お客様に対しても、社内組織においても、これは決して違えてはならないと戒めてまいりました。

人間の能力や知識は千差万別ですが、私が全社員に共通して求めるのは、「個々の業務に責任を持つ」「言葉と行動が伴っている」「約束は必ず守る」といった姿勢です。

誠実さを心に、日々の業務を積み重ねてゆけば、お客様との信頼関係を厚くし、社内環境を良くし、必ず企業に大きな利益をもたらす。そう信じて、まっすぐに進み続けた結実が、今日のナカガワであると考えております。

企業の強み

エンドユーザーの視点に立って

省エネ・節電商品、エコ建材など、商品のトレンドはその時々で変わりますが、変わらないのは、常にエンドユーザーの快適さ、利便性を追求していることです。

一方、住宅や施設の建築において、施主様が直接、仕様を選べる部分は目に見えるごく一部で、大部分の建材や設備の決定は工事業者様に委ねられます。ですが基本的には、図面通りの建物を工期中に建てるのが現場の仕事であり、施工技術やコスト面の問題が、ユーザーの意向よりも優先されがちになるのが現状です。

そこで、工事業者様に商品を納める、私たちの提案力が物を言うのです。大切なのは、現場で見失われがちな「住む人・使う人の目線」。メーカーの人間以上に、商品の特徴やアピールポイントを把握し、ユーザーに喜ばれる商品を現場で使ってもらうための積極的な提案努力を惜しみません。

それは結果的に、工事業者様への、施主様の信頼にもつながると考えています。

企業 DATA

所 在 地： 大和高田市東中 2-12-25
T E L ： 0745-53-5558
F A X ： 0745-53-6771
H P ： http://www.kk-nakagawa.co.jp/
業 種 ： 住宅設備機器、配管資材、建築資材、太陽光発電システム、機械工具等の卸売業（総合専門商社）
設 立 ： 1967 年 12 月 9 日（創業 大正 10 年）
資 本 金： 7,000 万円
売 上 高： 72 億 8700 万円
従業員数： 168 名
代 表 者： 代表取締役社長　中川 基成

採用 DATA

初 任 給： 大 卒 205,000円（営業配送職）
短大卒 184,000円（営業配送職）
年間休日： 106 日
休日･休暇： 土・日・祝（土曜日は 3 班交替制）夏期休暇、年末年始、特別休暇
福利厚生： 各種保険制度完備、退職金制度、制服・パソコン・（携帯電話）貸与、健康診断、表彰制度、慶弔見舞金、社員購入制度 etc.

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採 用 人 数	10 人	10 人	15 人

目指す企業の姿

より豊かな人間環境を目指して

21 世紀というグローバル化の時代において、私たちの使命は「より良い生活文化の創造」であると考えています。

ナカガワは、このテーマの実現を目指して果敢に邁進してまいります。今、私たちがすべきことは何か。次を担う世代のために、大切なことは何か。それは、かけがえのない美しい自然や、快適な生活環境を守ることであり、そこにこそナカガワの企業力を遺憾なく発揮できると思っております。

自然の音が澄んで聞こえる、ナチュラルな風を頬に感じる…感性豊かな環境創造と心を癒す優しい人間空間づくりへ向けて、ナカガワは挑戦し続けます。

先輩社員からのメッセージ

営業を始めて 1 か月。やりがいを感じるポイントは沢山あります。

注文を頂いた商品がどのようなものでどこに使われているのか？自分で理解しお客様に説明するので苦労しますが、自分の受けた仕事の商品が住宅という人生の大きな買い物の一部となり、満足して使って頂けるという事は大きな達成感、充実感があります。

一日の仕事の流れ

8:30	8:15	8:30	9:00	12:00	13:00	17:00	19:30
朝礼・ミーティング	朝礼	事務処理	配達	休憩	営業外周り	見積・商品調べ	退社

仕事内容紹介

営業配送職

営業及び配送職の主な仕事は、得意先（工務店・リフォーム工事店・水道工事店等）への訪問、商材の提案・販売、納期調整、問合せへの対応、見積書作成、社用車での納品、販売先への代金回収、得意先・競合他社・現場等の情報収集です。また、お客様と一緒に現場調査にも行くことがあります。得意先の要望に合わせて様々な仕事がありますが、お客様と力を合わせて現場を作り上げていくやりがいのある仕事です。

営業事務職

営業マンの仕事が円滑に進むよう、主に見積りの作成や商品の受発注、得意先からの電話応対等を行っています。事務職という立場ではありますが、お客様と直接対話する機会が多くあり、商品の提案やお問い合わせの対応も行います。建材や管材、住宅設備機器といった幅広い商品の取り扱いがある為、覚えることも多く大変ではありますが、少しでもお施主様の理想に近づけるよう、営業マン、お客様と一丸となり家づくりのサポートができるよう取り組んでいます。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

天理大学　人間学部　３年
黒柳 沙紀

働きがい

「住宅づくりは全て現場が違う」という言葉が印象的でした。常にお客様に寄り添いお客様のニーズを細やかに汲み取ること、汲み取ったニーズに応えられる幅広い品揃えに代表されるニーズへの対応力、お客様の言葉で表現できないニーズをイメージして形にして差し上げられる提案力が備わっていることを大切にされている社員の皆さんの姿を目にしながら株式会社ナカガワで働くことの素晴らしさを強く感じることができました。

同じニーズは二つとなく、今のニーズは「今」しかない。そんな「オンリーワンの現場」に毎回出会えて、お客様とともに一つの作品を作り上げることができる仕事は、「間接的なものづくり」であり、お客様が頭の中に描いておられる「欲しいもの」を用意することや「作る」人たちにお客様の「欲しいもの」をより再現性が高くなるように伝えることです。お客様と「もの」を繋ぐ大切な立ち位置を担うこの仕事は、いかにお客様との信頼関係を構築できるか、いかに自分が「仕事という一つの流れ」を止めずにうまく流すことができるかが鍵である、というお話に感銘を受けるとともに、それを達成するための努力こそこの仕事のやりがいである、と感じました。

職場の雰囲気

中川社長自らが発案された新人研修「インストラクター制度」では、社員全体を細かく分けてチームを作り、先輩社員が後輩社員にマンツーマンで学習計画を立て指導していかれます。

株式会社ナカガワでは「自主創造性」を養うことをキーポイントにこの制度の下で切磋琢磨している、とお聴きしました。

また、「職場ごとに年齢層も雰囲気も違うが、若い人が活気を流し込むのはどこも共通」とおっしゃっていた通り、職場全体には明るい雰囲気が広がり、ちょっとした動作一つの中にも互いに声を掛け合ったりして、世代間や先輩後輩間の壁なく接しておられているように感じました。

この職場の一体感が仕事上で「一つの流れ」を形成することに寄与し、株式会社ナカガワの強みである「即対応力」を生み出しているのだと思いました。

将来性

時代は常に移り変わり、特に現代は日々著しく変化しています。お客様のニーズも絶えず変化していく中で、企業

も常に敏感でなければなりません。

株式会社ナカガワが誇っておられる一つに、事務所と倉庫の併設があります。これは、あるニーズを持っておられる目の前のお客様の、今あるそのニーズを今満たして差し上げられること、お客様に足を運んでもらったからにはそこで全て揃えることができること、何度もご足労頂かなくて済む状況を作って差し上げられること、といったさまざまな配慮のもとに成り立っています。

また、その倉庫に幅広いストックを持つ在庫を活かした配送も強みです。同業他社との差異化を決定づけているのは「即対応力」であると強く感じました。さらに、「人の時代」と言われる現代社会において、欠かせないのが周囲とのつながりです。「価値を作るのは、決めるのはお客様」とのお話の通り、「地域の構成員として社会貢献をすること」を常に念頭に置き、お客様の目線で寄り添いながら仕事を作っていこう、という将来への情熱を学ばせて頂きました。

株式会社奈良情報システム

Key Information System の創造

創業は昭和５７年６月 奈良県下において初のＰＣ販売専門事業（ＮＥＣマイコンショップ システムイン奈良）を開始致しました。以降、情報化の進展と共にシステム受託開発事業やネットワーク構築・保守関連事業を手掛け、更には独自開発のパッケージシステムを開発し全国に販売展開しております。又一昨年、新たに滋賀県内に建設したデータセンターを用いクラウドサービス事業を開始いたしました。

社長からのメッセージ

代表取締役社長　井門 一美

私の人生のモットーの一つに「邂逅」と言う言葉があります。これは人生においての [巡り会い] を意味します。別の言い方では「一期一会」と同義語です。

人生の中での、いろいろな人たちとの出会い、又いろんなものとの出会い、あるいは喜び、悲しみとの出会い・・・・長い人生においてその人の成長をつかさどる出会いを大切にするという意味です。

例え、それがマイナスである苦しみであっても、その巡りあいを受け入れ乗り切ってこそ、そこに幸せや成功と言うプラスとしての結果が生まれるということです。

よく、この仕事は自分に合っていないというような表現がありますが、自分に合う仕事はこの世の中には存在しません・・・何故ならば、自分の為に世の中に仕事があるわけではないですから・・・自分自身がその仕事に適応する能力をつけていくのだ！と言う心意気が人生には必要です。

仕事や人生の中で必ず遭遇する壁があります。この壁をよけることなく這い登る力を身に付けることが必要です。壁を乗り越えた時の喜びはひとしおなものがあると思います。

しかし次には必ず今乗り越えた壁より高い壁が待っているものです。

「我、この道しかなし・・・我、この道を歩く」

企業の強み

「コア」は人財そのもの 会社＝∫知的野生人

我々ＩＣＴ業界は、世界規模で日夜新しい技術が生まれている変化の激しい業界の一つで、その最新の技術やサービスの根幹を成すものは、常に「人」で永遠に変わることは無いと考えています。

自由奔放な人間としての本能に、＋知識＋知恵＋哲学を兼ね備えた逞しい人財・「知的野生人」こそ、事業のコアであり、このコアから生まれる「Key Information System」を創造していくことが当社のベクトルです。

当社の技術を結集した技術は公共・産業分野で幅広くご利用頂いております。

その１例としては、公共機関向け「ＵＤＦａｃｅ」（国内シェア２位）や超精密加工システム「ＯＰＴ１」は国内並びに米国特許を有し、世界に冠たる日本の光学製品を製造するうえで、なくてはならないシステムとなっております。

企業 DATA

所 在 地： 奈良市高天町 10-1 T.T. ビル４階
ＴＥＬ： 0742-22-1731
ＦＡＸ： 0742-27-2796
ＨＰ： http://www.nara-js.co.jp/
業 種： 情報サービス業
設 立： 1984 年７月
資 本 金： 5,000 万円
従業員数： 47 名
代 表 者： 代表取締役社長　井門 一美

採用 DATA

初 任 給： 院 卒 218,000円
大 卒 198,000円
短大卒 176,000円
4年専門学校卒 188,000円
年間休日： 110 日
休日･休暇： 土曜日、日曜日、祝日
福利厚生： 各種社会保険完備、退職金制度、社員旅行、社員融資制度有り、保養所有り

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	２人	０人	３人

目指す企業の姿

「情報」という２文字において、必要かつ十分条件の会社を目指して

世の中全ての企業や組織は、人間個人の欲求を満たすことのみに存在しているが、情報の原点である「人間の欲求」は真の情報でありながら、その一つ一つの力は非常に弱い。

しかし同種情報が集積することにより世の中の全ての企業や組織を動かし、まさに私たちの目に映る全ての世界は人間の欲求と言う「情報の輪廻」そのものの姿であります。

私たちはこの「情報の輪廻」の空間で必要不可欠な一部を担える「小さくてもキラリと光る」企業を目指していきます！

先輩社員からのメッセージ

地方自治体向けのシステムの開発と運用・保守に携わっています。この業務に携わっていると、日頃普通に生活しているだけでは知り得ない社会の動きを目の当たりにすることができるので、日々勉強になります。

業務上お客様や職場の方と話す機会が多いので、密な会話ができる明るい方が集まるといいなと思います。

一日の仕事の流れ

9:00 出社・メールチェック
…… グループミーティング
9:10 プログラム開発・保守
12:00 昼休憩
13:00 プログラム開発・保守
17:45 作業報告
18:00 退社

仕事内容紹介

■システム営業部

システムインテグレーション事業の先兵とし、各業界向けに最適な提案営業を行います。

自社開発システムや基幹・情報系業務システムの提案型営業を行う部署です。

■システム技術部

システムエンジニアとプログラマーが顧客ニーズにマッチしたシステム開発・製作を行います。

公共自治体向けのシステム開発や民間企業・学校向け業務システムの開発、ホームページの企画デザイン製作やコンテンツ製作など多岐にわたります。

又、当社独自の業務系商品開発も当部門の担当です。

■ファシリテイ・サービス部

ネットワークインフラからサーバシステムの設計・構築・運用サービスや、その利用環境に応じたシステム全体の企画・設計構築を継続的かつトータルにサポートする部門です。

ファイアウォールと VPN 機能をベースにアンチウイルス、不正侵入防御、Web コンテンツフィルタリングといった複数のセキュリティ機能を統合的に提案・管理・保守を行っております。

■応用技術部

光学系超精密加工 CAD/CAM システムに特化したシステムの開発並びに国内外の営業を担う部門です。

当社の開発商品「ＯＰＴ１」は光学系業界の設計・開発分野においてシェアトップを誇り日本の冠たる高品質光学製品を影から支えているシステムです。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

奈良学園大学　人間教育学部　２年　仲西 健太

株式会社奈良情報システムは、「ICTを通じて地域社会の発展、その地に暮らす人たちの安全・安心を提供し、明るく豊かな生活環境を提供できる一助となること」を理念として掲げています。このことを踏まえ、代表取締役社長の井門様や社員の方々にインタビューをさせていただき、働きがい・職場の雰囲気・将来性の3点を以下にまとめました。

働きがい

職場を見学させていただいた後、井門社長から会社概要の説明をしていただきました。仕事の大半はデスクワークであり、職員の方々は黙々と作業をされている姿が見られましたが、その眼差しは真剣そのものでした。働きがいについて職員の方に尋ねると、「お客様、そして社会のために働き、どのようなことでも貢献できると嬉しいし、人の役に立てるという実感が仕事のやりがいと誇りになる」とおっしゃってました。

また、お客様のニーズにお応えできるように日々考え、努力し続けることが大切だと教えていただき、常に相手目線であることが自分を成長させ、会社を発展させる原動力になるのだと思いました。

職場の雰囲気

株式会社奈良情報システムは、技術グループ、営業グループ、管理グループの三つの部署に分かれており、仕事の内容がそれぞれ違います。部署によって、職場の雰囲気も違うと思いました。

井門社長と社員の方が話されている様子を見ると、良い人間関係が築けているように感じました。井門社長は、社員のことをよく見ておられ、一人一人に応じたアドバイスをされていると思いました。「時には厳しく指導している」とおっしゃってましたが、社員の方々のスキルアップ、そして、失敗を成長に変えるたくましい人間を育てたいと思っておられると感じました。会社のマークに込められた思いである「人」を大切にし、それが会社自体の雰囲気をより良いものにしていると考えられました。

将来性

将来性について井門社長にお聞きしたところ、「私たちは、縁の下の力持ちでありたい」と答えられ、システム面からお客様を最大限にサポートできる存在になりたいとおっしゃってました。

また、「会社は小さくても良いが、お客様のニーズに応えられるよう質にこだわり、より良いものを作り続けたい」と述べられ、仕事をする誠実・堅実な姿勢に対し、大変勉強をさせていただくことができました。立門グループ、井門社長と職員の方々が協力し合い、これからの社会を支えていく会社へと成長し続けると思います。

奈良豊澤酒造株式会社

二杯目からも美味しい
飲み飽きしないお酒の追求！

明治元年（１８６８年）創業。創業者の『稲みのり国も豊よ祝い酒』と詠んだ歌から『豊祝（ほうしゅく）』と命名。醸造アルコール添加のお酒が主流であった、昭和 40 年代より純米酒の製造を手掛け、現在では全生産数量の 80％以上を純米系で占めているため、創業以来手造りに徹したお酒造りを継承しています。代表ブランド『大吟醸豊祝』は全国新酒鑑評会で通算 11 回の金賞を受賞している。

代表取締役社長　豊澤 安男

社長からのメッセージ

現在、弊社は、奈良県内での清酒生産数量が最多で、特定名称酒比率（本醸造酒クラス以上）は85％を超えております。

豊祝ファンを増やすことと、蔵元と消費者との距離をより身近なものにしたいとの思いから、『豊祝ファンづくり運動』を 2005 年に策定し、「豊祝会の運営」、「蔵元豊祝の直営」、「積極的な蔵見学の受入れ」を運動の 3 本柱として、この 10 年で豊祝ファンを着実に増やし県内外に多くの固定的なお客様にご支持いただいております。特に 2 本目の柱である直営の立ち飲み処「蔵元豊祝」につきましては 3 店舗（近鉄奈良店・西大寺店・大阪難波店）展開しており、リーズナブルな価格で当社の日本酒を楽しんでもらうと共に、新たに開発した日本酒のリサーチやモニタリングを実施するなど、新商品開発におけるアンテナショップ的な役割も果たしております。

これからも常にお客様目線で、より高品質なお酒の開発に全力を注いでまいります。

企業の強み

お客様のニーズに柔軟に対応する商品開発力！

当社のお酒造りは、創業以来代々但馬杜氏を筆頭に職人集団によって製造してまいりましたが、約 20 年前に近い将来間違いなく来るであろう職人の後継者不足に危機感を感じ、前杜氏であり現在製造顧問の藤沢忠治（平成 14 年「現代の名工」平成 24 年「黄綬褒章」受賞）からの提言により、地元採用の社員蔵人を育てていこうという試みを始め、平成 25 酒造年度より社員杜氏を筆頭にオール社員によるお酒造りに完全移行しました。

藤沢顧問（前杜氏）が作り上げた高

度な製造の技術・基礎を継承した社員蔵人たちと市場のニーズに敏感な営業社員とが融合することで、『こだわり』を押し付ける商品ではなく、消費者目線でニーズに柔軟に対応する商品開発力と技術力が当社の一番の強みであります。

企業 DATA

所 在 地： 奈良市今市町 405
T E L ： 0742-61-7636
F A X ： 0742-61-7658
H P ： toyosawa@jasmine.ocn.ne.jp
業 種 ： 日本酒製造業
設 立 ： 昭和 30 年（創業 1868 年）
資 本 金： 2,500 万円
売 上 高： 7 億 5,000 万円
従業員数： 約 50 名
代 表 者： 代表取締役社長　豊澤 安男

採用 DATA

初 任 給： ND
年間休日： 113 日
休日･休暇： 基本土曜日、日曜日、祝日（季節により変動有）
福利厚生： 各種社会保険完備

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	0 人	0 人	1 人

目指す企業の姿

地域（奈良）にとって必要とされる企業

お酒造りを通じて、または多くの豊祝ファンとの交流を通じて、お客様にとって地域にとって必要不可欠なお酒であり企業でありたいと考えます。

そのために社員一丸となってより高品質なお酒造りの技術の研鑽と、地域事業等への積極的な参加・参画を引き続き行ってまいります。

働く従業員、家族、そしてお客様が幸せになれる『社会から必要とされる価値ある活発なオンリーワン企業』を目指してまいります。

先輩社員からのメッセージ

入社1年目より製造に携わり今年で8年目になります。

酒の種類によって使用する種麹（麹カビ）も変わります。先輩蔵人から受け継ぐ麹菌を使って麹作りする期間は 2、3 時間しか睡眠できないこともありますが、蔵の味を作り出しているという自負はあります。

一日の仕事の流れ（通年）

8:00 出社 …… 製品ビン詰め・製品仕上げ作業・出荷準備・分析 12:00 昼休憩 …… 製品ビン詰め・製品仕上げ作業・出荷準備・分析 17:00 退社

一日の仕事の流れ（酒造期間10～4月）

5:00 出社・蒸米準備 8:00 蒸米 9:00 麹室へ蒸米引き込み・仕込み・搾り 11:30 昼休憩 13:00 米洗い 15:00 麹、手入れ …… その他、製造作業 18:00 作業終了（夜間も数時間ごとに麹室へ出入り）

仕事内容紹介

麹室（こうじむろ）での麹作り

『一麹・二もと・三造り』。何段階もの工程で複雑に構成される酒造りで、この３つの工程が特に蔵人たちが神経を研ぎ澄ます重要な作業。

中でも麹作りは、その後の品質の良しあしを決める最重要な工程といえます。

昨今、労力のかかる麹造りを機械化する蔵が多い中、当社では、総杉板張りの麹室で創業以来引き継がれた麹作りの技法で、すべて手作業で納得のいく麹を作っています。

１ 本あたりの仕込みに使うお米のわずか15%程度しか占めない麹の出来具合の良し悪しが、品質の良し悪し決めるといても過言ではないお酒造りの工程で１番大切なこだわりの部分です。

分析

発酵中の醪（もろみ）の分析（アルコール度数、酸度など）や最終の品質チェックのための一般分析（国税庁所定分析法）を毎日行っています。

発酵中の醪の分析は、酵母が順調にアルコール発酵をおこなっているかを見たり、しぼりのタイミングを見極めるための大切な指標となります。

最終の品質チェックの為の分析は、瓶詰め前に製品の規格（アルコール度数・酸度・アミノ酸度・日本酒度）通りになっているかを確認する重要な分析となります。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

奈良大学　文学部　３年　山崎 利紗

奈良豊澤酒造株式会社は、大手企業のようにすべて機械化で酒を大量生産せずに、室町時代とほぼ変わらない手作業の製造方法で酒を生産している会社です。　奈良は日本酒発祥の地で、昔は天皇に献上するために造っていたとされています。その歴史ある地でどのような工夫をされているか興味を持ち取材させていただきました。

働きがい

私が感じた働きがいは、日本酒という伝統産業を自分たちの手で造ることができるということです。酒造りはもともと専門の職人（杜氏）が代々行う作業だったそうです。

しかし、職人の高齢化と後継ぎがいないという問題により、酒造りができなくなるのではという問題が発生しました。

そこで、30年ほど前に職人が奈良豊澤酒造の社員に自分達の技術を伝授することで社員の人達も酒を造ることが可能になりました。

しかし、酒は温度に弱く、微生物の管理が難しいため、その年によって酒の出来が違うそうです。そういった大変なことがありますが、それを乗り越えて酒を造ることは非常に達成感があるのだと

思います。

さらに、伝統的な日本酒だけでなく社員が独自に考えた酒なども自分達の手で造れるため、そこに働きがいを感じました。

職場の雰囲気

取材にお答えくださいました社員さんの話では、社員の平均年齢は31.5歳で若い人が多く、若い人が責任重大な役職についており、年輩の方が若い人を支えるような形になっているそうです。

酒造りは10月半ばから3月までに行うため、製造工程の状態は見ることはできませんでしたが、大手企業とは違い手作業を中心とした酒造りのため、お互いの力を合わせて仕事に取り組んでいるのではないかと感じました。

将来性

酒の銘柄などは知っていても、わざわざ蔵まで来て酒を知りたい思う人は少ないと思います。そこで、奈良豊澤酒造では自社で造っている「豊祝」という日本酒をもっと多くの人達に知ってもらうために、近鉄の奈良・西大寺・難波の駅構内にある直営店で日本酒「豊祝」を飲むことができるようにしています。

また、年に1回豊祝会というお酒を楽しむ会を開催しており、お酒を知ってもらうようにしています。このような良く行く場所で店を運営したり、イベントを開催することによって、お酒をあまり飲まない人や「豊祝」という日本酒を知らない人でも気軽にお酒を知ることができます。こういった取り組みは会社にも良いと思うし、何よりお客様も楽しいと思うので、こういったイベントをずっと続けてほしいなと感じました。

奈良精工株式会社

お客様の未来を現在に挑戦する企業

我社は、光学機器、ＯＡ機器、医療機器、輸送関係の部品加工及び医療機器の第一種医療機器製造販売業を持った会社であり、医療機器の開発から製品化までを行っている会社です。これらの生産に於いては、あらゆる素材・形状に対応可能な加工技術、QC 体制、豊かな経験と対応力。高次元のものづくりで、お客様が望む、理想の「未来」をも創ります。我社は、常に未来に挑戦する企業です。

代表取締役社長　中川 博央

社長からのメッセージ

我社は、奈良県下で多種多様の設備を使用して、多品種少量生産に対応することで経営を行っている会社です。

新しい設備を導入し、難しい製品を加工してお客様にお届けしてしています。お客様も１０％前後の売上先２～３社以外は数％のお客様が殆どです。近年（３年前）、医療機器に力を入れた取り組みをしており、年々取引先が増えてきています。

さらに今年、医療機器の情報取集を目的として、神戸医療産業都市にも拠点を設けました。特に力を入れているのは、医療機器を中心とした自社開発製品です。奈良県立医科大学との産学連携により腱鞘切開機器を開発し、この製品を海外販売することを前提に海外の医療機器展示会へ出展しています。海外におけるこの製品の反響は大きく、低侵襲で安全に短期間で治癒（ガーゼが外せる）できることが評価されています。

また、安定した企業の構築を考え、人材育成にも力を入れています。特に推進していることは、上下の関係なく「挨拶」が元気よくでき、「３Ｓ」が維持でき、「報告・連絡・相談」が確実にできることです。仕事への取組み姿勢を大切に考えている会社です。

企業の強み

医療機器の製品化ができる企業

我社は、設立１９６８年より製造業に特化した企業です。主に、光学機器、ＯＡ機器、医療機器、輸送関係部品等の加工を行っています。

１９９６年には、医療機器の製造業の許認可を取得しました。特に、光学機器と医療機器の製造技術を有した企業です。

医療機器の手術器械においては、顧客ニーズに合った製品を設計開発より行い、製品化後の認可届出も行っています。

我社は、奈良県に於いて唯一の第一医療機器製造販売業者です。多品種少量生産を得意とする会社であり、医療機器に於いては常に前向きにユーザーの声を聴き、製品化できる企業です。

生産設備は、複合ＮＣ旋盤（１０軸制御）や５軸制御のマシニング等を初め、多種多様の生産を可能にする設備を毎年更新しており、顧客のニーズに合った物づくりができる企業です。

企業 DATA

所 在 地： 桜井市小夫 3681
Ｔ Ｅ Ｌ： 0744-48-8511
Ｆ Ａ Ｘ： 0744-48-8244
Ｈ Ｐ： http://www.nara-seiko.co.jp/
業 種： 精密金属加工
設 立： 1968 年 10 月 24 日
資 本 金： 3,000 万円
売 上 高： 4 億 7,018 万円（平成 27 年度 8 月決算）
従業員数： 47 名
代 表 者： 代表取締役社長　中川 博央

採用 DATA

初 任 給： 大 卒 207,600円+諸手当（工学系卒）
短大卒 188,600円+諸手当
高 卒 175,000円+諸手当
専門学校卒 192,200円+諸手当
年間休日： 115 日
休日･休暇： 土曜・日曜（祝日出勤）夏期、冬期連休
福利厚生： 各種社会保険完備、皆勤手当、中退金積立、交通費、技能検定等資格者に社内規定金額給付

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	4 人	1 人	3 人

目指す企業の姿

医療機器の自社商品を海外販売できる企業

我社は、従業員個々の能力を伸ばし、それぞれが前向きに自分の役割分担を把握し、相互協力の基に組織が一体となって取り組む会社を目指しています。

業種的には、医療機器の売上高を全体の５０％以上を目指しており、自社製品を海外に販売できる企業に変えていきます。

この為、現在の医療機器部の陣容をこの３年にて強化することにしています。

常に前向きに仕事をする企業を目指し、新製品の開発によって海外展開を目指します。

先輩社員からのメッセージ

奈良精工は、明るく働きやすい会社です。

入社４年目の私は、数年前から社長が推進している医療機器の自社商品化に関わっており少しでも会社に貢献できればと考えております。

自分から積極的に意思表示すれば前向きに応えてくれる会社です。

一日の仕事の流れ

8:05	8:10	8:15	8:20	12:15	13:00	17:00
出社	ラジオ体操	朝礼（始業）	金属切削作業開始	昼休憩	金属切削作業開始	退社

仕事内容紹介

金属切削作業

複合ＮＣ自動旋盤、複合ＮＣ旋盤、マシニング、ワイヤー加工機等を中心とした設備を使用しての作業で、段取、加工実作業、品質確認、設備点検等を行います。

先ず入社時は、加工機の段取りができるようになるために、１年間位は機械の仕様についてやプログラム、加工刃物の選択方法、材質に合った切削条件の勉強等を実施しています。

機械の仕様等を学んだ後は、製造現場ではグループ単位による２４時間稼働を基本としており、昼勤、夜勤等の交代勤務を行っています。

測定作業

製造された製品は、検査標準書に従って１点毎に検査をします。

測定器としては、マイクロメーター、ノギス、ダイヤルゲージ、ピンゲージ、ねじゲージ等を使って検査します。これらで測定できない項目は、表面粗さ計、真円度測定器や、位置確認には光学系の測定機にて画像検査を行います。

また、複雑な形状の製品は、三次元測定機にて測定をし、品質保証を行います。弊社の医療機器の表面租度等は、非接触によるレーザー光にて表面形状を測定します。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

奈良県立大学　地域創造学部　２年　佐藤 康平

働きがい

中川社長の考え方から、上からの指示で動く機械的作業でなく自分で考えて行動することに重点を置いており、年齢給＆能力給制度を採用しているため、自分自身の技術を磨き評価を上げることにより70の段階で給与も上がるシステムになっているため、社員の努力を無駄にせず自分自身の伸びを働きがいに直結できる制度を整えている。

また工場内で質問させていただいた2年目の社員さんは、上記した制度により自分のスキルアップを実感することが出来るので良いともおっしゃられていた。

職場の雰囲気

奈良精工株式会社では9月現在、総社員数47名(正社員38名･パート社員9名)の企業であり、今年の春には3年間の勤務を果たし一定以上の技術を満たしているパート社員を正規雇用させたり、定

年退職を65歳までひきあげたり、今年の春から従業員の給与を3%の増加させたりと国の意向に沿った行動をいち早くとっており、社長さんの理念として基本的には怒らず自分で考え和気藹々とした仕事場を目指しているため、工場内の雰囲気はとても穏やかに感じられた。

将来性

奈良精工株式会社は2010年に近畿ものづくり100選企業認定を受けており、2012年、2013年には中小企業総合展でベストプラクティス賞を、2014年には新価値創造展でベストH!NT賞を受賞しており、今年の春には奈良中央信用金庫の助成金対象の中で最優秀賞に選出される、2015年の新価値創造展においてはポスターに掲載される企業の3社のうちの1社に選ばれるなど輝かしい栄誉を毎年受賞しており、現在は弾発指の手術を2mmの切開という従来に比べて小規模におこなうことが出来る医療機器を奈良県立医大と共同で開発したりと、非常にパワフルな企業に感じられる。

また企業自体の育成のため毎年3000万円前後の設備投資を行っており時代にあった製品をつくるための資金繰りを行っており、常に新しい時代のニーズに対応している。

新たな時代を生きる企業の社員の育成の原動力を生みだしている能力給制度にも技能検定の結果も取り入れており最高毎月2万円の上乗せが期待され、

さらには資格手当、資格補助にも力を注いでおり頑張る社員の努力を無駄にすることはないように徹底されている。

展示会においても“未来に挑戦”する会社であることをモットーにされており、常に新しいこと、前向きな思想を持っている中川社長率いる奈良精工株式会社は奈良県の中小企業の星であり、奈良を牽引するほどの力を持っているように感じられた。

西垣靴下株式会社

自らが造り上げ、販売する。
物造りが好きな人大集合です。

創業以来 30 年。国際的な品質規格の ISO9001 を所得している靴下工場です。健康補助商品としての靴下、サポーターを自社ブランドで製造販売しております。造り上げた技術は、18 種類の意匠登録で守られ、有名スポーツブランド・キャラクター等の指定工場にもなり、提案型のＯＥＭ生産にもつながっています。昨年度、当社のテーピング靴下が近畿地方表彰、奈良県発明協会会長賞を受賞しました。

代表取締役社長　西垣 和俊

社長からのメッセージ

大和高田市周辺は江戸時代から木綿の産地として知られ、明治以降は大型の綿紡績工場が立地し繊維産業が発達。今でも靴下では日本製の 60%を占めている大産地です。とはいえ、消耗品としての靴下は価格の安い海外品が大半で、国産比率は現在 15%ほどしかない。まして、多くの企業が下請け生産の為、奈良の靴下の良さが知られていないのが現状です。単価の問題から中国を筆頭としたアジアの商品に市場を奪われ、次々と廃業・倒産している状態です。

そこでブランド・アパレル企業の下請けに頼らず、自らものづくり企業として、従来からの培った技術で新しい独自の高付加価値靴下をつくり上げ、広く企業･消費者に提案する。

奈良の靴下を今治のタオルや三輪の素麺のように日本の中でも〝良いもの〟として認知して頂くようにするのです。日本において「靴下は奈良でなければ」という常識をつくり上げましょう。

産地のメンバーで、ものづくりの真価を発揮して、一緒にものづくり･技術の開発に努め、靴下産地のトップランナーを目指しましょう。

企業の強み

靴下製造の高い技術の強みを生かした提案・開発型生産メーカー

地元奈良の地場産業の良さを活かし、自社工場での生産を軸に、品質・技術を基に高品質な商品を造り上げています。

新しい素材・技術で造り上げた独自の商品をお客様に提案し、その商品をもとにお客様と　共同で提案型OEM を造り上げています。

また意匠登録、特許申請等で独自性を守り、他社との差別化を図るために社員全員が一丸となって製品造りに取り組んでいます。

高機能なより良い製品を生み出したい、という思いが、最高品質の製品造りに活かされています。

平成 26 年度には、当社のノンスリップ・テーピング靴下 「歩きやすくて疲れにくい靴下」歩き ING バリエは、公益社団法人発明協会が開催する表彰において奈良県発明協会会長賞を受賞いたしました。

企業 DATA

所 在 地： 大和高田市大谷 61
T E L ： 0745-52-0088
F A X ： 0745-22-5929
H P ： http://www.nishikutu.co.jp/
業 種 ： 靴下の製造販売
設 立 ： 昭和 61 年
資 本 金： 1,000 万円
売 上 高： 5 億 8,000 万円
従業員数： 35 名
代 表 者： 代表取締役社長　西垣 和俊

採用 DATA

初 任 給： 大 卒 175,000円/諸手当
短大卒 175,000円/諸手当
高 卒 175,000円/諸手当
年間休日： 94 日
休日･休暇： 年末年始、夏期休暇、第 2 土曜日
福利厚生： 各種社会保険完備、
退職金制度、保養施設あり

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採 用 人 数	2 人	2 人	2 人

目指す企業の姿

小さくてもひときわ輝く企業に・・・
世界ブランドを目指す

～自然と体にやさしい～を経営ともものづくりの理念として健康・笑顔・誠意をもってお客様に提供することで会社・取引先の存続を図りたいと考えてます。急がず確実に地域社会への貢献と一人一人の幸せを実現することで100 年企業をめざしています。

造り・背景・ストーリー、奈良の地にこだわった上質な暮らしを提案する靴下を造り上げていく事、それが私達の使命だと考えています。

先輩社員からのメッセージ

私は、商品の出荷や DM ハガキのデザイン、イベント時の商品販売など多彩な仕事を行っています。その為、営業・製造・企画といった様々な側面からモノづくりの楽しさを知ることができました。毎日覚えることも多く大変ですが、日々自分の成長につながっているのを感じることができて、とても充実しています。

一日の仕事の流れ

8:30	9:00	9:30	12:00	13:00	15:00	16:30	17:30
出社　メールのチェック	朝礼･打ち合わせ	出荷準備	昼休憩	出荷業務	DMハガキや商品パッケージのデザイン作業	翌日の出荷の段取り	退社

仕事内容紹介

営業部　企画

「サンプル作成」…得意先から依頼されたデザイン書を元に企画デザイン書（糸の指示・寸法・形状等）を作成。糸の注文をしてもらうために原料課にまわす。パソコンの柄書きソフトでデザイン画のグラフを作成。グラフ完成後、機種に合った編み機で織るためのデーターを作成し生産課へサンプル依頼。
「現物生産」…サンプルを元に機種変更になる時には編み立てをする機械への機種変更のデーターを作成。

西垣靴下がこだわって作ったブランド【エコノレッグ】

素材の安全性や機能性に特化した奈良の高機能靴下を身に着ける方に本当に良かったと思われるように造り上げる事でもう一度履きたいとリピーター性のある靴下を企画・開発し生産しています。

ブランドとは付加価値であり、単なる名前に過ぎず、強烈に支持してくれる顧客を創り、価格競争と決別するために「価値のある商品」を提供し、奈良産の靴下の良さを伝えていきたいと考えてます。

奈良の靴下を有名にする。“靴下は奈良でなければ”を目指します。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

天理大学　国際学部　３年
伏井　雅志

働きがい

一番印象的だったのは、「日本のものづくりを支える一員としての意識を持って仕事に取り組むことが大切である」という言葉です。

いいものづくりの技術を使って地方創生の一端を担っていく意識を持って仕事をすることで、大手の穴を埋めるニーズを拾い、お客様のニーズを満たすことができます。つまり、大きく売れる市場に対抗して、「ここでしか買えないもの」を生み出すことを可能にしているということです。それを実現するために、仕事に向かう一人ひとりがプロフェッショナルとしての自覚を持つことが大切であり、そのプロ意識が何もない所に流通経路を作る可能性を信じて開拓していく力に繋がっている、との言葉に感銘を受けました。

お客様の健康のために、常にお客様の目線にまで視野を広くもつことを念頭において働くことによって、お客様が満足される商品を提供できたときにお客様からかけて頂ける声こそがこの仕事のやりがいではないか、と私は考えます。

職場の雰囲気

何よりもまず、西垣社長の語り口からものづくりにかける熱意が強く伝わってきました。「本当にいいものをお客様に届けたい」という熱意を受けて、社員の方々も、真剣さの中に暖かみがあるような雰囲気を醸し出しておられました。

私が思い描いていた「企業のオフィス」は、張り詰めた空気の中でキーボードの音だけが響くようなイメージでしたが、実際は、社員同士が教えあい時折笑い声が届いてくる、といったとても和やかな空気の漂うアットホームなオフィスでした。

工場の方は、隣の人と会話をするにも声を張り上げないといけないような機械音の中、一人ひとりが一つの作業に真剣に打ち込んでいて、オフィスの和やかな空気とはまた違う雰囲気でした。そこにはオフィスと工場で、雰囲気は相反しているようで、どちらも「ものづくり」を担っている思いがありました。だからこそ、一つの目標に向かって全員が同じ思いを持って現場の雰囲気を作っているのではないかと感じました。

将来性

良い「ものづくり」の技術は、残そうとしなくても自然と残ります。日本ブランドの一部を担っているという意識が根底にあるからこそ、企業全体が同じ方向を見ることができ、結果的に日本人のこだわりを満たす「いいもの」を作ることができるのではないでしょうか。そしてその先に見据えているのは、日本の良さを、日本のものづくりを世界に広めることによって「ものづくり」の立場から社会貢献を行うということなのではないか、と感じました。

自分たちが作ることができる「いいもの」を使ってもらうことで、お客様の健康を支えることこそが「ものづくり」で社会貢献を行う、ということではないかと思いました。「人に言われてつくる道もあるが、自ら作っていく方が面白い」、と西垣社長がおっしゃっていた言葉には、常識や既存の型に囚われず、自分の強みで、自分にしかできないことで進んでいくこと、すなわち西垣靴下でしかできないことをやっていこうという信念が込められているように感じました。

日本計測システム株式会社

古都から世界へ
計測技術がものづくりを支えます

世の中に存在する全ての物が力（チカラ）の影響を受けています。わが社は、力と変位の関係を計測する試験機を開発、製造しています。
ばねの力を測る「ばね試験機」から始まり、「圧縮（押したり）引張（引いたり）するもの」「回転する力＝トルクで動くもの」など様々な<力の計測をするシステム>作りが私たちの仕事です。
そしてそのシステムの信頼性を維持するために重要な校正業務も行っています。

代表取締役　多山 禎一

社長からのメッセージ

万葉集で「やまとは国のまほろば」と詠われた時代、奈良は渡来人からの最先端の技術を導入した工業地帯でもありました。

東大寺の大仏建立には、当時の工業技術の粋を集めた鋳造技術が駆使されています。

そんな奈良に産声をあげたわが社は、「力やトルクの計測」の分野で、日本で海外で製造業の支えとなるべく努力を重ねてきました。

縁の下の力持ちとして、モノづくりを支える会社・・・・それがわが社です。

私がこの会社を始めたのは、まず、第一に機械をいじることが好きであったからです。

そして、地元に根差した暮らしをしたいと思ったからです。「好きこそものの上手なれ」という言葉の通りに好きなことは、つらくても努力するのが楽しいものです。ですから、わが社で一緒に働いていただく方に求めるものは、「その仕事が好き」という熱意です。

約 4 年前に本社工場を奈良盆地のほぼ中央に移転し、職住接近で働きやすい会社・清潔で仕事のしやすい新しい工場となり、業務も拡大しています。

一緒に、「好きな仕事」で日本を支えていく人材を求めています。

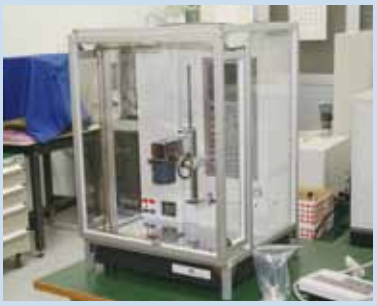
企業の強み

わが社の強みは開発力＆校正力

その①　開発力

お客様の「こんな試験機が欲しい」に応えて、今まで無かった試験機の開発に取り組み応えてきました。

製品の企画・研究開発、機械設計、電子回路設計、ソフト開発を社内一貫して行っています。特にソフトの開発にはお客様の要望に柔軟に対応し、ベストな提案を提供できる対応力が大きな力となっています。



その②　奈良県で唯一のＪＣＳＳ認定業者です。

JCSSとは、日本国内はもちろん海外でも通用する信頼の証。当社は、JIS Q 17025(ISO/IEC17025)を用い、認定スキームをISO/IEC17011に従い運営されているJCSSの下で認定されています。

JCSSを運営している認定機関（IA Japan）はアジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互認証に署名しており国際MRA対応となっています。

企業 DATA

所 在 地：桜井市大西 526-1
T E L：0744-46-5521
F A X：0744-46-5527
H P：http://www.jisc-jp.com
業 種：荷重試験機製造販売
設 立：平成４年（1992 年）12 月
資 本 金：1,500 万円
売 上 高：６億円
従業員数：27 名 役員除く　内関東営業所５名
代 表 者：代表取締役　多山 禎一

採用 DATA

初 任 給：理系大学卒初任給 209,000円/交通費 30,000円まで
年間休日：125 日
休日･休暇：土曜・日曜・祝日・夏季・年末年始
福利厚生：各種社会保険完備・社員旅行・社員会行事

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採 用 人 数	０人	２人	１人

目指す企業の姿

確かな技術を、より良い QOL のために

わが社の始まりはばね試験機です。ばねの力を計測する技術を基に、様々な工業部品の力に関する検査を行うための万能試験機・トルク試験機を開発してきました。

この技術をもっと毎日の生活に活かしたい。その思いから、食品の食感を測る「テクスチャー試験機」を開発しました。

美味しい！食べやすい！を曖昧な表現ではなく数値で<見える化>する。

日本企業のニーズに応えてきたその技術力をより良い QOL（クォリテイオブライフ）のために活用していきたいと思っています。

先輩社員からのメッセージ

奈良にいて良かった！と思えます。日本のモノづくりを支える仕事を家族や友達と離れることなくできる。世界標準の技術をもつ会社の一員として、日々成長を求められることは厳しいですが、季節ごとのレクレーションや毎日２回のお茶の時間など、和やかな雰囲気で、伝統的かつ新しい日本企業の良いとこ取りの会社です。

一日の仕事の流れ

8:00	9:00	10:30	10:40	12:00	13:00	15:30	15:45	18:10
出社 ※技術部 担当者の場合	完成した試験機の出荷前の校正業務	休憩	完成した試験機の出荷前の校正業務	昼休憩	試験機等の製造業務	休憩	翌日の校正業務の準備など	退社

仕事内容紹介

校正業務

完成した試験機は出荷の前に校正を行います。

校正とは、JIS 規格や社内規格に基づき、国際標準にトレーサビリティのある分銅などの器具を用いて、力と長さの測定する作業です。

見誤りなどが無いよう慎重に行われ、得られたデータによって試験成績書、校正証明書などの試験機に添付される証明書類が作成されます。

信頼性の高い試験機を出荷するために大変重要な業務です。

製造業務

試験機やそれに付随する機器等を製造する業務は、設計通りの性能が発揮できるように、細かい部分に気をくばりながら、部品を組み立てていきます。

部品を揃え、段どりを考え、少しずつ形にしていく作業です。

細かい仕様の変更や、個別のユーザーの希望などに対応し、また、納期に間に合うように、注意深く製品を完成させます。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

奈良女子大学　文学部　３年　高木 万由葉

働きがい

社長は、適材適所という言葉を大切にしておられ、そのために時には厳しさも必要だとのこと。

しかし、働きがいはそうして得られる地位だけで得られるものだとは思ってはおらず、何よりも一人一人が機械を好きであることを大切にしているそうです。

社員の方々も、昔から機械が好きというのは全員一致の意見であり、そういった仲間たちの中で仕事をするからこそ、会社にいると時間が過ぎるのが早いと感じられるのかもしれないと語っておられました。

また、考えていたことや課題が解決した時の達成感も、こうした仲間とともにあるからこそ感じられるものだそうです。

職場の雰囲気

アットホームで、社長でさえ和気あいあいと話せる環境だそうです。そのフレンドリーさは会社のイベントにも表れており、年に1回社員で旅行に出かけるとのこと。温泉旅行であったり、テーマパークであったり、計画も皆で考えるそうです。インタビューを行っているときも、社員に対する社長さんの温かい声かけが印象的でした。時にやさしく時に厳しい社長さんの存在は、この和気あいあいとした会社の雰囲気に必要不可欠なものなのだろうと思いました。

将来性

0から始まった会社がここまでしっかりと会社として機能するようになったと語る社長さん。これからも、初心を忘れることなく、次世代の人を育てていきたいそうです。

さらなる人材と新しい発想が必要になってきている現在、新しい技術を利用しつつその課題を達成できたらと考えているそうです。

また、最近は立地の問題を気にされているそうで、よりお客様との距離が近くなれるような立地を探していくことも検討されているようです。

株式会社葉風泰夢

子供たちに安心して食べさせられる
レストランを創ろう !!

ホテル・葉風泰夢を母体とし、奈良を拠点にあべのハルカス、ヒルトンプラザ、JR 大阪ルクアイーレなど、関西の中心地に店舗展開する中国料理桃谷樓。カフェ部門では、フランス菓子ラ・ポーズを中心に奈良国立博物館、東大寺や大阪梅田で展開しています。

代表取締役社長　畑中 利久

社長からのメッセージ

私共は「和の心で織りなす中国料理」桃谷樓と、フランス菓子ラ・ポーズ、新大宮駅前の 77 室のホテル・葉風泰夢、カフェ葉風泰夢という元気な店々の集合体というユニークな会社です。

いずれの店もお客様のより一層の健康、未然に病を防ぐ、心のやすらぎ、癒しを実現する等、身体と心の健康をサポートすることを目的としています。健康産業と言ってもいいと思っています。

グローバル化はこれからますます進みます。私共は奈良から世界へ向けて奈良公園を中心にカフェ業態を展開して行き、京都や金沢に負けない文化を持つ奈良を是非アピールしたいと思います。

皆様 何かのご縁で、奈良で勉強やスポーツ、文化活動に若い力を捧げています。是非その力を我々の会社へお貸し下さることを切望しております。

企業の強み

本物に触れ、日本文化を学ぶ社員教育に取り組む

会社を支える人材の育成は重要なテーマ。

社内外で様々な研修を充実し、スキルアップや知識の習得に取り組んでいます。

海外研修ではラ・ポーズはフランスに 3 回研修旅行に、桃谷樓グループは香港、上海、シンガポール等に年 1 回、選抜メンバーで研修を実施しています。

現在は 3 人の若手社員が香港へ半年間留学し調理、サービス技術、薬

膳知識の習得に努めています。

人材育成では社長自身も社員と一緒に食事に行く機会を設けています。場所は社長が『ここはすごい』と認めたレストラン。本物に触れることで味を学び、同時に仕事への想いなどを共有しています。

また、薬師寺を訪問して僧侶から歴史や文化の話を聞く研修も設けており、奈良や日本の文化への理解を深めることが、より良い仕事の基礎になるとの考えからです。

企業 DATA

所 在 地： 奈良市辻町 2 丁目 11-6
T E L ： 0742-33-5656
F A X ： 0742-33-5352
H P ： http://www.nara-halftime.com/
http://www.tokokuro.jp/
業 種 ： 宿泊業、飲食業
設 立 ： 1990 年（平成 2 年）11 月
資 本 金： 2,000 万円
売 上 高： 30 億円
従業員数： 420 名
代 表 者： 代表取締役社長 畑中 利久

採用 DATA

初 任 給： 大 卒 195,000円/諸手当
短大卒 180,000円/諸手当
専門学校卒 170,000円/諸手当
高 卒 165,000円+諸手当
高等専修学校卒 167,000円+諸手当
年間休日： 105 日
休日･休暇： 夏期休暇、冬期休暇、有給休暇有り
福利厚生： 各種社会保険完備、交通費全額支給、寮完備、食事補助、健康診断（年 1 回）

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	25 人	20 人	21 人

目指す企業の姿

奈良から発信する“和の心”で日本の食と文化に貢献していく

私たちが作っているのは「和の心で織りなす中国料理」です。

奈良は現在に続く日本料理の出発点となった場所。その当時の首都 奈良へあらゆる大陸文化がもたらされ、それを日本人の心（和の心）で織なしたそのものが、我々が享受している文化のルーツと考えます。

桃谷樓では無化学調味料や天然素材を大切にすること、健康を維持する薬膳料理などを受け継いで伝えていきたいと考えています。

また、和の心を大切にしながらいろんなジャンルにもチャレンジしていきます。

先輩社員からのメッセージ

桃谷樓の最大の魅力は、メンバーひとりひとりの人柄の良さ。仕事には厳しいが、面倒見が良く、スタッフ全員がお客様をもてなす雰囲気があります。

研修制度が充実しており、毎年選抜された社員は海外での研修の機会も与えられます。会社を挙げて研究と教育に力を入れており、とても恵まれた環境だと感じています。

社員みんなが勉強熱心で、面倒見の良い会社です。

一日の仕事の流れ

10:00	10:45	11:00	14:00	16:00	17:00	20:00
出社 清掃、開店前準備	朝礼	オープン ランチタイム営業	昼食・休憩（交替制）	アイドルタイム営業、ディナーの準備	ミーティング、ディナータイム営業	退社（営業状況により残業あり）

仕事内容紹介

サービス職

「お客様に喜んでいただくこと」その想いが当社の基本精神。

基本マナー、コミュニケーション能力を身に付け、サービス技術力を高めていきます。当社には「 薬膳師」「野菜ソムリエ」「ワインソムリエ」「レストランサービス技能３級、２級」などの資格を持った社員が仕事に活かしています。

自己を磨き、企業の繁栄に携わってくれる社員には資格援助システムもあります。

企画・販促部

当社のコンセプトや店舗の取り組みをお客様にわかりやすく魅力的に情報発信する重要な仕事です。

また企画をするうえで、日本の四季の行事を取り入れお客様に楽しんでいただけることを大切に考えています。

主な企画の仕事は、
●メュー制作にともなう撮影、構成など。●店舗ごとの企画をまとめて販促物の制作など。●百貨店などのテナント関連の企画の取りまとめ。●広報関連の取りまとめ。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

帝塚山大学　経営、人文学部　３年
米田 哲也・堀 実加・中村 沙弥佳・吉田 承実

葉風泰夢さんでは定年60歳という基準があまり関係なく、社長さんは64歳、総務の方は65歳だとおっしゃっていました。

しかし、熟練の方が仕切っているということではなく、年齢だけでなく国籍・学歴・性別全て関係ないということでした。その中でも、「自分がやりたいようにできる」というように自由な社風で、その中でみんな一つになって、協力しながらやっていこうという一体感もありました。なにより、差別のない同じ“人間”としていられるので、働いているときの気持ちが「苦」を「楽」に変えられるところでもあると思いました。

従業員一人一人がお客様の立場に立って同じ目線で考え行動することを大切にされています。お年を召されたお客様であれば自分の親のように、料理長は自分の家族に食べさせたいと思うような料理、子どもに食べさせたいような料理を作ることを心がけているとおっしゃっていました。

毎日違うお客様がくるホテルで、毎日一人一人の事を考え行動することは難しく大変なことだとは思いますが、うまくいけばすごく達成感が得られるだろうと思います。私は、働きやすさよりも働きがいが大切だと考えています。葉風泰夢さんは働きやすさをとても感じましたが、従業員一人一人の働き方を聞くと働きがいも感じられました。

「中小企業の良いところは人を育てるところ」とおっしゃっていて人を大切にされているのがすごく伝わってきました。従業員の方は、国籍・年齢・性別・学歴何も関係ないということで様々な方を雇っておられて、差別など一つもないといった印象でした。

従業員の方は日本人だけではないので、文化交流でわきあいあいとしている雰囲気や英語を使って会話をしていると聞いて、グローバルな雰囲気を想像しました。多国籍との交流があるからこそ、おもしろさや楽しさ、自分には無い考えや刺激をもらい、刺激を与え、というような相互効果があるように感じました。

社長さん自身、話を聞いている中でも少し冗談まじりで楽しく話をしてくださり、聞いている私たちも楽しく場が和んでいたように感じました。

しかし、会社についての質問が出たときはすごく真面目に答えて下さり、社長さんだから当たり前なのかもしれませんが、切り替えの素晴らしさが魅力的で職場でも同じような感じなのだろうなと思いました。

葉風泰夢の社長さんは他にも４社設立されていて、カフェなどの飲食店を含め、今では大阪10店舗、奈良７店舗、奈良より大阪の店舗数が多いです。

しかし、これからも奈良を大事に京都には絶対負けないようにしたいという社長の強い気持ちが伝わってきました。

今は奈良国立博物館にあるカフェを葉風泰夢さんが経営されていて、国宝を見ながらゆっくりお店で寛ぎ癒されるのはココしかないということで、これからも奈良を大切にした事業に期待ができます。

お店は一見高級そうに見えてしまいがちですので、今後は幅広い客層の方々に来てほしいということで、カジュアルさを取り入れていくそうです。限られた幅の中のお客さんばかりを呼ぶのではなく、今後はもっと気軽にたくさんの人に来店してほしいという思いから行動されていて、思い切った行動力に驚かせれました。

桃谷樓さんではお茶は無農薬の日本茶を出していて、お茶の葉は安心安全を一番に考えてパックにしているそうです。料理全般は体にとても優しく作るようにされています。

株式会社福本設計

スマートシティの理念を設計力へ

福本設計は創業以来、様々な人の想いを支え、「和」を育む建築を目指してきました。社会環境や価値観が変わっても、いつの時代も変わらず人々の心に残る空間づくりが、私たちの使命です。私たちは、地域との関わりを大切にし、人と和合し、環境と共生する建築を創り続けてゆきます。

代表取締役社長　福本 保治

社長からのメッセージ

私たちは、建築に要求されるものを求め続けています。

日本社会が戦後の経済的発展を経て、未来をどう描くかに煩悶し続けている現在において、建築は、どうあるべきでしょうか。

これまで、幾多の地震などの自然災害や、火事や犯罪などの災害を経て安全安心な建物を造るという技術的な視点を基本とし、魅力ある空間に人々が生活する「まちづくり」という目標が、私たち建築設計事務所にありました。

「奈良」という歴史的文化意識に恵まれた立地を背景として、「創るべき景観や形」を模索し、将来にわたる「環境」に影響を持つものが建築であると心得、「情報」を取り込むために建築という垣根を越えて活動できる組織を目指してゆきます。

福本設計は、「人」が基本の会社です。建築は広い視野と高い倫理観そしてより深い技術的能力を問われる仕事であり、働く者一人一人の資質が、誠実で堅実なものであるべく研鑽することが、皆様の期待に応え信頼を得る道と信じて活動しています。

企業の強み

誠実な仕事と実績による人財の厚み

当社は半世紀に渡り建築設計の専業事務所として数多くの経験と発注者の要求にこたえる努力、研鑽により公共、民間の両面の実績を誇ります。

建築設計は建物の未来を思考し、計画し、実践する大変高度で複雑な思考と作業を求められますが、継続した業務の経験は基本となる人を育て、会社を支える各世代での実務経験者を擁することができました。

当社は発注者の期待に応えた設計を行うとともに、建築とともに継続する会社であることを重要視しています。

技術においては日々研鑽を積みその変化に対応し続けなくてはなりませんが、設計者としての人間性や働く喜びをつないでいけるよう努力しています。

社内に様々な人材が存在することで、世代を超えたコミュニケーションが可能であり、その時代の要請に応える人を応援する会社です。

企業 DATA

所 在 地： 奈良市大宮町 6-4-21
T E L ： 0742-34-2800
F A X ： 0742-34-2878
H P ： http://fukumoto-arch.jp
業 種 ： 建築設計
設 立 ： 1962 年
資 本 金： 2,000 万円
売 上 高： 4 億円
従業員数： 27 名
代 表 者： 代表取締役社長 福本 保治

採用 DATA

初 任 給： 年俸制（年度毎更新）
年間休日： 120 日
休日･休暇： 土日祝、年末年始、夏期、年次有給、結婚、忌引など
福利厚生： 各種社会保険完備、互助会、財形貯蓄、会員制リゾート施設

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	0 人	3 人	1 人

目指す企業の姿

安心して建築を任せられる会社として

今日、建築設計の果たす役割は「技術による空間の創造」という範疇を超え、より広域かつソーシャルな部分に及んでいます。

シンボルとして人々の意識に残り続ける建築の意義、コミュニティにおける継続的な活動拠点としてのあり方、地球環境への配慮など、様々な考察が設計者に求められます。

私たちは、設計者としての社会的責務を自覚し、建築のトータルマネージメントを行える組織を目指します。

先輩社員からのメッセージ

建築設計を学び実践していくことは、考えること作業することの繰り返しで辛いことの方が多い職種かもしれませんが、自分自身やお客様の想いを形にすることで得られる喜びは、他の職種にはない、ものづくり特有のものだと思います。

ぜひ一緒に、その喜びを分かち合えればと思います。

一日の仕事の流れ

- 7:00~11:00 出社（時差勤務体制：勤務時間7.5時間休み1時間）
- …… 掃除（担当者制）
- …… 設計作業、打ち合わせ等
- 12:00 昼休憩
- 13:00 設計作業、打ち合わせ等
- 15:30~19:30 退社

仕事内容紹介

設計の基本となる設計図書及び関連書類の作成

①企画設計（事業の概要を把握し方向性を定める作業）、②基本設計（建築に要求される基本的機能の図面化と事業趣意に適合しているかを文書化して、規模・構造・スケジュールを策定する）、③実施設計（施工者に設計の意図を正確に伝え積算を行えるように図書を作成する）④各種申請（建設を行うことができるよう必要な法的手続きを行う。建築基準法及び関係法令に基づき、例えば確認申請等役所への届け出書類の作成を行う）監理（施工者との現場での調整、指示を行う）

調査その他

（設計業務を行うために、建物の対象敷地の法的、物理的環境調査を現地や関係行政団体や近隣関係に対して行う）完成図、模型その他の作成（専門的な設計図書は一般には理解することが困難なため、発注者へより精度の高い説明を行うために全体や部分のイメージを表現する図書や縮小模型を作成する。図書はコンピューターによる設計向けの画法を使用するため専門知識が必要。模型は表現する目的に応じ質感やスケールを決めて行い細かい作業の把握や手先の器用さを求められる）

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

帝塚山大学　人文、経済学部　３年
乾 幸史・西山 翔・原 千紘・水島 あい

私たちが普段利用している建築物は、顧客、設計者、施工者が関わってできたものである。今回企業見学に行った株式会社福本設計さんは設計者の立場であり、顧客が望むものを顧客と一緒に考え、それを形にして満足のさらに上を目指している。そうするためには社長は「顧客やその建築に関わる人たちの考え方をよく理解する必要がある。」と言われた。また、地域社会に必要とされる建築を目指し、「和」の精神を基本にしながら、安全、安心、快適な建物と言う環境をつくっている。

設計には建築士の資格が必要とされる。建築士は国家資格でありなかなか取得することが難しい資格であるが、資格があれば年齢関係なく仕事を続けることが可能とされる。この資格は建築物設計など公共の安全に関わるものなので、資格を持つことにより、仕事に対してより強い責任感を実感することができる。建築設計は、建築の向上を目指しながら、自らが日々成長していける仕事である。

福本設計さんの職場の雰囲気は、社内に幅広い世代の社員がいて60代の社員から20代の社員また、女性社員もいる。

年齢、性別関係なく働ける素晴らしい

職場である。設計の仕事は社員全員で取り組まずチームを作り、役割分担する。

一人一人が建築に対するつよい情熱とこだわりを持ちながらも、チームワークを大切にしている。また、仕事以外で飲み会や社員旅行を企画することで、幅広い世代の社員たちがお互いに親睦を深めることができ、よりよい社内づくりと仕事内容につながっている。

建築は人々が生活する場であり、人の命と生活を守ってくれるものであり、また人々を取り巻く「環境」でもある。福本設計さんは、学校や福祉施設を多く手がけていらっしゃる。これら以外の施設においても地球環境や、近年増加し続けている様々な自然災害も考慮、ある程度予測することが今後大事になってくる。

建物は良い状態のものであれば、建築した人間以上に長く残るという。明治に建てられたものも約15%ほど残っているそうだ。

福本設計さんが造る建物は周囲の環境や街並みを配慮した建物で、こんなに周りにうまくとけ込む決して調和を乱さないそして「和」の精神をきちんと基本にした建物を造ることができるのは素晴らしいことだ。

また、「和」の精神を念頭において派手なものは造らず、地域の景観を壊さない建物、そして維持管理がしやすい建物をつくることを心がけて実行しているそうだ。

孫七瓦工業株式会社

創業 320 年超の伝統と
信用を誇る屋根工事会社です

孫七瓦工業は、創業元禄七年（1694 年）・設立 1964 年という歴史があり、奈良県内の有名な社寺や神社を始め、公共物件や民家・店舗などのあらゆる屋根工事に携わってきました。時代と共に業態を変化して、太陽光発電の販売施工やリフォーム工事も営業品目に入り、新たなステップを踏み出しています。

イメージキャラクター
まごちゃん

代表取締役社長　清水 良洋

社長からのメッセージ

弊社では、経営理念を最重要としています。
一、私たちは、お客さまの笑顔を見るために、誠意を持って、安全で安心できる快適な住まい創りの提供を目指します。
一、私たちは、共に学び、共に育ち、お互いが尊敬できる社風を築き、働き甲斐のある会社を創ります。
一、私たちは、地域に根ざし育てられた想いを還元するために、地域社会の発展に貢献します。

この経営理念は、孫七瓦工業株式会社が「何のために経営しているのか」「何のために働くのか」を示した根本的な考え方・目的です。また、経営者と社員の日々の行動指針でもあり、最高の価値基準でもあります。

弊社の仕事は屋根工事を通して、瓦の文化・日本建築の素晴らしさを後世に伝えていくものです。自分が工事した瓦屋根を誇りに思えるように技を指導し、技術・技能を伝承していきます。

家づくりという「ものづくり」は、「人づくり」から始まります。人が財産であり、宝です。そんな会社で一緒に働いてみませんか？

企業の強み

社員が一番の強みと誇りです

弊社の社員は、ただ屋根工事をするだけでは務まりません。仕事を通して経営理念を理解し実践して、お客様と地域の方々に満足・感動してもらうことが必要になります。

また、資格取得も積極的に支援し、高い技術力・技能力を持って、安全で安心出来る快適な住まい創りの提供をしています。

また、環境整備（整理・整頓・清掃）にも力を注いでおり、会社社屋や倉庫を毎朝清掃しています。これは、

会社を美しく出来なければ、屋根を綺麗に仕上げることは出来ないからです。

この日々の積み重ねが屋根工事をする上での人間力を形成し、大きな原動力に変わると確信しています。

他の社内活動では、レクレーション委員会が定期的に懇親会を開催して社内でのコミュニケーションを活性化し、技術向上委員会が屋根架台を使用して後輩の技能的な指導も行っています。

企業 DATA

所 在 地： 生駒郡斑鳩町神南 3-13-13
T E L ： 0745-74-1218
F A X ： 0745-74-0668
H P ： http://www.magohichi.com/
業 種 ： 屋根工事業
設 立 ： 1964 年 4 月 23 日
（創業：元録七年 1694 年）
資 本 金： 1,500 万円
売 上 高： 9,443 万円
従業員数： 11 名
代 表 者： 代表取締役社長　清水 良洋

採用 DATA

初 任 給： 181,800円
年間休日： 117 日
休日･休暇： 日曜、祝日、第 1 第 3 土曜、年末年始、夏季、ゴールデンウィーク等
福利厚生： 各種社会保険完備・健康診断（年 1 回）

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	0 人	1 人	1 人

目指す企業の姿

地域とともに

弊社にとって地域社会は切っても切れない関係です。地域が元気になれば、回りまわって弊社も元気になります。

地域に元気がなくなれば、回りまわって弊社に損失が生まれます。地域の団体を通して奉仕することや地域のプロスポーツを支援すること、またもっと広義の社会貢献活動や地球環境改善活動もやっていかなければいけません。

地域社会に貢献することは、弊社にとって社員・お客様の次に大切なことです。地域に生かされていると感じ、今までもこれからも社員一同、地域社会の発展に貢献します。

先輩社員からのメッセージ

屋根工事業という仕事をさせていただき、瓦葺きというかなり高度な技術の取得を目指し努力をしています。なかなかやり甲斐のある仕事で、自分の葺いた屋根が何十年・何百年も残っていくところに、とても達成感を感じます。若い世代の人達と、私達 30 代 40 代が協力して新しい良いものを作っていきましょう！

一日の仕事の流れ

7:15	7:20	7:30	8:15	12:00	13:00	17:00	17:30
出社	環境整備（社内整理・整頓・清掃）	積込・現場移動	現場作業（30分間の休憩あり）	昼休憩	現場作業（30分間の休憩あり）	帰社・荷卸し	退社

仕事内容紹介

棟施工

現場作業の一例です。信貴山朝護孫子寺玉蔵院様の庫裏の屋根工事で棟を施工しています。現在の屋根工事では、雨漏りをさせないことは最重要ですが、耐震性や耐風性も考慮した新しい工法で工事を行っています。また、いかに美しく仕上げるかも重要で、安全作業に気を配りながらも、棟の曲線美を表現します。美しく仕上がった屋根でも経年劣化で年月が経つと多少は衰えて見えます。最初から仕上がりが悪いと良くなることはありません。日本建築の美や優雅さを継承するためには技能の習得が重要となってきます。

一文字軒瓦合端

この瓦は一文字軒瓦と言い、屋根の軒先に使用される瓦です。瓦は焼き物なのでネジレがあるため、瓦工場を出荷したままでは屋根に葺くことが出来ません。そこで、現場に搬入する前の準備作業として会社で合端（あいば）作業を行います。寸法を正確に計測した上で切断したり、瓦と瓦の重なり部分に隙間が空かないようにする作業です。瓦葺きの 1 級技能士になるための技能試験では、電動工具を使わずにタガネとカナヅチを使用して一文字軒瓦の合端を行います。電動工具に頼らずに職人の技で作業を行い、国家資格の取得を目指しています。また、弊社では各種資格の取得を奨励しています。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

奈良大学　文学部　3年　辻　秀平

働きがい

孫七瓦工業は、元禄以来の長い歴史と伝統を持つ企業です。一般家庭の新築の屋根やリフォーム工事にとどまらず、神社や仏閣などの歴史ある文化財の屋根修復工事も行っていらっしゃいます。瓦工事の伝統と技術を後世に守り伝える為には、職人としての「誇り」が大切であると社長や会長は仰いました。

「屋根」は普段人の目があまり行き届かない存在ですが、何十年、何百年と風雨や腐食に耐え、建築物の威容を保つためには決して欠かすことのできない存在です。屋根という「後世まで形に残る物」を造り上げる仕事には妥協は許されず、高い技術やセンスが要求されます。東大寺大仏殿などの大規模な文化財修復には年単位の時間を要することもあるそうで、職人としての「誇り」なしには、このような厳しい仕事を成し遂げることは難しいでしょう。

伝統と技術と共に歩む、職人気質に満ちた同社の雰囲気そのものに働き甲斐を感じました。

職場の雰囲気

同社は従業員が11名と規模の小さい企業ですが、瓦工事に従事する従業員全員が「職人」としての気概をもち、常に技術の習得や向上に努めていらっしゃいます。

技術の面では、従業員の様々な資格取得にも力を入れていらっしゃるそうで、「建築施工管理技士」や「建築士」といった国家資格の取得にも注力されているそうです。自己の技能向上に熱心に取り組み、「職人」として仕事に真面目に励む方の多い職場です。

将来性

瓦工事に限らず、「職人」の世界は昔から男性主体の世界でした。しかし、最近では女性の瓦ふき職人の方が誕生しているそうで、瓦職人の世界も徐々に変わりつつあるようです。同社は「屋根」の工事を主に取り扱う企業ですが、最近では屋根瓦を利用したガーデニングや、屋根瓦の素を生かしたコースターの製造・販売といった新しいアイデアを考案されています。

コースターは様々な文字や模様を彫り込むことが可能なデザイン性豊かなもので、「屋根」の素材を用いた強い耐久性も併せ持つ画期的なアイデアでしょう。また、資格取得だけでなく若い世代の「職人」を育てることにも熱心に取り組まれています。

一人前の「職人」になるには相応の年数を要し、厳しい仕事に音をあげて3年程で瓦工事の世界を離れてしまう若い方も多いそうですが、それでも辛抱強く「職人」育成に励まれていらっしゃいます。人間の感覚に頼ることの多い技術は「無形」のものであり、絶えず伝承のための努力が欠かせません。後世にも「瓦」の伝統を伝える努力を続けていらっしゃる同社。その「将来性」は、伝統とともに自らも革新し続ける姿勢にあると考えます。

株式会社明新社

『古都で、コトコト。新しいこと。』
お客様の課題解決パートナー

１４０余年のノウハウと実績を活かしたハイクオリティーな印刷物と、長年の経験だからこそ出来る印刷だけにとどまらないさまざまなコンテンツの新たな付加価値を提供している会社です。
AR NARAR・ならクターショップ絵図屋・PANDA STUDIO 奈良・YAMATO 超人ナライガー・日本ティーコンシェルジュ協会奈良校、明新社はこれら全てを運営しています。

代表取締役社長　乾　昌弘

社長からのメッセージ

弊社は創業明治７年という、大変歴史ある会社です。会社が長く存続するためには、その時代に応じた適切な設備投資・方向転換・領域拡充をすることが重要であると考えます。

そして、それを実現するためには常に新しいことにチャレンジすることが必要です。新しいことを始めるときには必ずいくつもの壁がありますが、途中であきらめることなく前向きにやり遂げることで道が拓けるのだと確信しています。

そして、今、激しい時代の移り変わりの中で、弊社ではいくつもの壁を乗り越えながら、印刷を核としながらも、動画撮影スタジオ・オリジナルＡＲアプリ・ご当地ヒーロー・奈良のキャラクターグッズやかき氷のショップなど様々な展開をしています。

もちろん、それらの過程の中で失敗することもありますが、失敗を恐れていては何も生まれません。

失敗を糧にするからこそ、新しいことが生まれてくるのです。

みなさんも就職活動のみならず、常に「失敗を恐れず常にチャレンジする」、そんな気概を持って頑張っていただきたいと思います。

企業の強み

時代と社会の要求の、その先へ！

創業以来１４０年以上奈良の歴史や風土にこだわりながら絶えず新しいチャレンジを重ねて来ました。

歴史の蓄積があるからこそ、そしてこの長年の経験があるからこそ、私たちはこれから先の１４０年を目先の事だけにとらわれず、冷静、かつ的確に分析し考える長期的な視点を持っています。

いち早くデジタル時代に求められる色の再現性を可能にした７色印刷の導入。印刷データからホームページ・デジタルカタログ・動画などへのデータ移行。

イベントの企画から運営、そしてノベルティの制作まで。従来の印刷だけにとらわれない「価値」以上の「価値」を時代の流れをいち早くキャッチし、その時々にマッチした内容で提供し続けていける会社です。

企業 DATA

所 在 地： 奈良市南京終町３丁目 464 番地
T E L ： 0742-63-0661
F A X ： 0742-63-0660
H P ： http://www.meishin.co.jp/
業 種 ： 総合印刷業
設 立 ： 創業 明治７年 12 月 18 日
資 本 金： 3,000 万円
売 上 高： ９億 6000 万円
従業員数： 47 名
代 表 者： 代表取締役社長 乾 昌弘

採用 DATA

初 任 給： 大 卒
営業系 185,000円/諸手当30,000円
一般系 170,000円/諸手当10,000円
短大卒
営業系 155,000円/諸手当30,000円
一般系 150,000円/諸手当10,000円
高 卒
営業系 130,000円/諸手当30,000円
一般系 130,000円/諸手当10,000円
年間休日： 105 日
休日･休暇： 日曜、祝日、第２・４土曜、年末年始、夏期休暇、会社指定日
福利厚生： 各種社会保険完備、社内リクレーション、健康診断

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	４人	２人	３人

目指す企業の姿

古い歴史の新しい明新社

今まで構築してきた様々なノウハウを活かした技術の提供だけでなく、絶えず新しいことにチャレンジし続け、一歩先を進み、お客様の課題解決パートナーとして枠にとらわれないコンテンツで新たな付加価値を奈良から提供・発信し、「元気な街づくり」「元気な企業づくり」のお手伝いが出来るベストパートナーであり続けることを、社員一丸となってこれからも目指していきます。

先輩社員からのメッセージ

私が考える弊社の魅力は奈良のため、お客様のために「おもろい」に向かって積極的にチャレンジしていく自由で活気のある社風です。社員一人ひとりが個性を武器にしてお客様のため、会社のために一丸となれる信頼関係も弊社の魅力と考えます。

社員同士で高め合える中で日々、緊張感を持ちながら業務にあたる事ができ、社会人として充実した生活をおくっています。

一日の仕事の流れ

8:00	出社
8:10	メールチェック、一日の予定の確認
8:30	朝礼･ミーティング
9:00	得意先訪問
12:00	昼休憩
13:00	得意先訪問
17:00	帰社･デスクワーク
18:20	明日の準備
18:30	退社

仕事内容紹介

MEISHIN PRIMARY COLOR SYSTEM

従来の４色（C シアン･M マゼンタ･Y イエロー・K 黒）カラー印刷にパソコンやデジタルデータの基準である光の３原色（R レッド･G グリーン･B ブルー）を加えた MEISHIN PRIMARY COLOR SYSTEM（＋RGB７色印刷）を導入。

デジタル時代に求められる鮮明で、かつ精細な色領域を鮮やかに再現しました。

ARアプリ AR NARAR

スマートフォンの普及に伴って需要の拡大が期待されている AR(拡張実現<主にモバイル機器を利用して現実映像に新たな情報を付加する技術>）機能を、明新社のオリジナルアプリ「AR NARAR」でサービス展開しています。

従来の紙に印刷されただけのパンフレットやカタログだけでなく、印刷物への新たな付加価値として、お客様のニーズに合わせて企画・提案をしています。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

帝塚山大学　人文、経営、法学部　３年
橋本 佳奈・山本 菜々美・坂井 健太・島本 裕生

私達が担当した企業は、「株式会社明新社」という乾昌弘さんが社長を務められている印刷会社である。元々は、「ものさし」や「はかり」などを扱う製造販売会社であったが、時代の流れとともに印刷会社へと活動を変えられたそうです。

社長の乾さんは、「地球の環境を保全する」という経営理念を持たれて活動をされておられて、そのことについて「うちの会社は奈良県の印刷会社では一番最初にISO１４０００の規格を取得しています」とおっしゃっており、「環境にももちろん気を配っていますし、会社だけでなく各部署ごとに環境保全の目的を定めて、月に一回近隣のゴミ拾い活動も行ったりしています」とも言われていました。そういった活動について乾社長は「ずっと昔からそのようにして奈良の環境保全活動に参加してきていますね。こういう活動をすることによって、会社の中だけではなく日常生活でポイ捨てすることもなくなりますからね。うちは印刷の際に出る廃油の処理にも気を付けています」とおっしゃっていました。このことから、地域に愛される会社なのだろうと思いました。さらに、印刷のほかに様々な活動をされていることから、話題性のたえない会社だと感じました。

乾社長は印刷会社としての活動だけでなく環境保全活動にも力を注がれていますが、そのほかにも様々な活動をされています。例を挙げれば、乾社長が考案されたご当地ヒーロー「ＹＡＭＡＴＯ超人ナライガー」や印刷物などにスマートフォンやタブレットをかざすだけで、動画や３Ｄコンテンツなどを表示させるＡＲ技術を体験できるオリジナル無料アプリ「ＡＲ ＮＡＲＡ」を配信するなど、幅広い活動をされています。乾社長は「印刷会社ではあるが、とにかく新しいことを考え活動をするのが大好きだ」とおっしゃっており、新しく考案された企画を積極的に行動に移されている。社員の方々もそのことについて会社の特色であると理解されており、積極的に与えられた様々な活動に取り組まれています。その際に、社員の方々の能力に応じて、仕事が与えられることがあるようです。例えば、音楽を経験されている人ならご当地ヒーローのテーマソングを作曲する仕事が与えられたり、絵を描くのが得意な人ならイラストを担当したりと、一人ひとりの能力を生かすことのできる仕事を与えられています。社員の方は、「それによって、自分の得意な分野で仕事をすることができるので、働き甲斐がある」とおっしゃっていました。

最後に、会社の雰囲気について社員の方は、「自分の失敗を社長自らがフォローしてくださりました。その失敗以来、二度と同じ失敗は繰り返さないように気を付けています」とおっしゃっていました。ほかにも、「優しくてあたたかいアットホームな感じの会社です。しんどいなと思うときもあるけれど、それでもやめたいなんて思ったことはありません」ともおっしゃっていました。

株式会社若草食品

未来の食文化に向かって

私達は、人間社会（市場活動）の中で社員一人一人の自己の成長と企業の安定・発展を計り、感謝と誠意をもってお客様へ商品とサービスを提供し社会に貢献し続けます。

代表取締役社長　上杉 幸作

社長からのメッセージ

私達は、単に企業の発展や生活の安定・向上だけに働くのではなく、貴重な人生を歩む者同志として、相互に啓発し合って豊かな人間性（尊重）を養いながら社会作業（環境）を作って行きます。

お客様に満足していただける、商品やサービスの提供なくして、企業の存続はありえません。

お客様に喜んでいただけることを使命とし、良い商品・良いサービスを提供できる体制を持って、時代の要請にあった商品を作り上げて行きます。

そして企業が存続し、発展し続けることにより、若草食品にかかわっている多くの方々に対する責任を果たしていき、社会からの恵みに対して応える事になります。

企業の強み

わが社は日本一をねらえる会社です

若草食品は業界シェア日本一を狙える生産体制・経営哲学があります。
その根拠として
①お客様第一主義に徹している
②高品質に徹している（安全性の高い均一な商品を安定的にお届けできる技術と能力を備えている）
③社員ひとりひとりの幸せとその家族の幸せを築くための地域一番の待遇である
④その業界でのより多くの一番商品を備えている

⑤その業界での一番の市場（販売チャンネル）を備えている
⑥その業界での一番商品の生産設備を備えている
⑦設備投資・商品開発共に積極的である
⑧より多くのお客様の要求に満足し続ける内部体制における従業員資質・要員共にこの業界での一位を目指している
⑨企業経営収支が常に黒字である
以上の方針からわが社は十分に日本一をねらえる会社と言えるのです

企業 DATA

所 在 地： 北葛城郡広陵町大字南宇井殿 178
T E L ： 0745-57-1335
F A X ： 0745-57-1333
H P ： http://www.wakakusa-shokuhin.co.jp/
業 種 ： こんにゃく製造卸業
設 立 ： 昭和 59 年 8 月 10 日
資 本 金： 3,200 万円
売 上 高： 15 億 5,000 万円
従業員数： 88 名
代 表 者： 代表取締役社長　上杉 幸作

採用 DATA

初 任 給： 200,000円/諸手当
年間休日： 105 日
休日･休暇： 完全週休 2 日制※概ね土日が休みです
福利厚生： 各種社会保険完備

最近の雇用状況 ※30 歳以上を含む

	24 年度	25 年度	26 年度
採用人数	4 人	9 人	4 人

目指す企業の姿

社員の個性や能力を最大限に発揮させてこそ「本当の企業」

“若草食品で働くものは、誰もが幸せでなければならない”これが人材に対する考え方。これを実現するために、当社ではいくつかの目標を掲げています。
①どこよりも高賃金であること。
②より多くの休日を取ること。
③健康を維持しつづけられる勤務体制であること。
④個人の能力、特性を最大限に発揮できる作業環境と機会を持っている。
⑤近い将来の大幹部。
「あまりに理想的すぎる」といわれるかもしれませんが、すでに当社はこの目標を着々と具現化しているのです。

先輩社員からのメッセージ

私は、商品のお問い合わせやお客様からのお声などを最前線に受け取ったり、工場内を見回り品質を維持するなどのお仕事を行っています。
入社 1 年を過ぎましたが、まだまだ覚えることが多く、失敗も色々してきましたが折れず粘り続けることで自分の経験値になり、その経験が何年後かには必ず役に立つと思います。

一日の仕事の流れ

8:00	出社
8:30	メールチェック、工場内見回り
10:00	製造日報のチェック、生産数データ取り
11:00	工場内の備品チェック（随時交換、買い出しや注文）
12:00	休憩
13:00	商品クレームの工場調査
15:00	メールや書類のチェック、処理
17:30	業務日報作成
18:30	退社

仕事内容紹介

製造職

こんにゃく、ところてんの製造
　半手動、半自動の機械を使用し、製造業務全般を行っています。
　機械に興味のある方、機械が好きな方、機械の操作、調整が好きな方に適している業務です。

一般販売管理

商品の一般販売業務として
　[FAX/EOS 注文]→[伝票発行]→[集計]→[出荷連絡]→[送り状発行]・仕上がった商品を得意先別に仕分けをします。
　そして仕分けられた商品を配送業者等へ引き渡すまでの業務です。

一般事務

一般事務業務として
　顧客電話対応、伝票の作成･保管、集計表作成、ファイリング、発注業務など事務作業全般を行います。
　確認するのが好きな方や整理整頓が得意が適している業務です。

商品開発担当マーケティング

　こんにゃくを中心とした自社製品の製品改良及び新製品開発の為のリサーチが主な業務です。顧客からの製品に対するフィードバックを取りまとめをし、顧客のニーズに合わせた商品開発（改良）の為の企画・提案をしていただきます。

学生から見た企業の魅力

ツアー後のレポートより

奈良大学　文学部　３年　藤田 莉瀬

働きがい

　若草食品さんでは社長さんと社員さんのお話を聞くことができました。
　まず、働きがいについて社長さんの話では、こんにゃく業界で日本一を目指し「幸せ」を掴むことだそうです。社長さんの言う「幸せ」は様々あり、健康であること、時間があること、好きな仕事をすること、お金があること、パートナーがいることなど、誰もが納得できる形で働けることだとお話しされていました。
　社員さんのお話では、自分の頑張りが反映されるとのことでした。頑張ったら頑張った分のお給料が出て、成績が良いと褒めてもらえることと、努力したことが報われるというお話をされていました。

職場の雰囲気

　若草食品さんの職場の雰囲気は、社員さんのお話ではアットホームだそうです。説明していただいた社員さんが入社したときは、同期の人がおらず不安に思っていたそうですが、先輩の社員さんは気さくで話しかけやすく、自分の話を聞いてもらえるのが感じられて働き易いと思えたそうです。事務所と工場は場所が違うそうですが、そうであってもど

ちらの社員さんも接しやすい雰囲気になっているそうです。
　また、その雰囲気について社長さんは、職場の雰囲気が良いのは社員さん一人一人がよくなるよう努力していること、雰囲気はみんなで作るものだとお話されていました。雰囲気作りで重要なのは、笑顔と挨拶です。朝のおはようから夜のおやすみが出来ていれば、特に周りに気を遣うこともなく、いい職場の雰囲気が自然とできていくそうです。当たり前のことですが、ついつい忘れがちになってしまうことなので、心掛けていきたいと思います。

将来性

　こんにゃく業界において若草食品さんは、過去に１番になったこともあり、現在は、国内で１０番以内に入っている会社だそうです。社長さんのお話では、会社の目標は、日本一の売上を上げ、それを維持することだそうです。そのためには、資金をどれだけ投入することが出来るかが重要で、年間の計画を立てて社員さんも一丸となって目標達成を目指すのだとお話されていました。
　そのほかにも重要なのは、お客さんを大切にすること、品質管理の徹底、社員さんとその家族への待遇、設備投資や商品開発への積極さ、企業の営業収支を常に黒字に保つことも必要なことなのだそうです。
　また、「ねじり糸こん」をひらめいたように、中小企業には“ひらめき”が重要な要素の一つだそうです。

学生募集

奈良県中小企業団体中央会 HP 内では、
奈良県の中小企業の魅力や採用情報の発信を中小企業によって行っています！
誰でも・いつでも閲覧可能で、聞きたいこと・知りたいことがギュッと詰まった内容です。

企業見学が PC から気軽にできる

さらに、登録を行っていただくことで採用情報が閲覧できます（無料）
気になった企業様の求人情報が見れるかも！

アクセスはコチラ

http://www.chuokai-nara.or.jp/jigyo/01zenkoku/index.htm

URL を直接打ち込んでいただくか、QR コードを読み取ってください。

ご協力いただいた皆様

企　業

大峰堂薬品工業 株式会社
株式会社 柿の葉ずし
カネマル 株式会社
川端運輸 株式会社
北野木材 株式会社
株式会社 栗原製作所
株式会社 三光丸
株式会社 昭和
株式会社 ダイドー
株式会社 ナカガワ
株式会社 奈良情報システム
奈良豊澤酒造 株式会社
奈良精工 株式会社
西垣靴下 株式会社
日本計測システム 株式会社
株式会社 葉風泰夢
株式会社 福本設計
孫七瓦工業 株式会社
株式会社 明新社
株式会社 若草食品

学　生

畿央大学
（2年）二ノ宮 穂美
（2年）杉原 ひかり

帝塚山大学
（3年）浅田 真佐彦
（3年）松田 莉奈
（3年）伊藤 翔太
（3年）米田 哲也
（3年）堀 実加
（3年）中村 沙弥佳
（3年）吉田 承実
（3年）乾 幸史
（3年）西山 翔
（3年）原 千紘
（3年）水島 あい
（3年）橋本 佳奈
（3年）山本 菜々美
（3年）坂井 健太
（3年）島本 裕生

天理大学
（3年）黒柳 沙紀
（3年）西田 真徳
（3年）木村 一正
（3年）伏井 雅志

奈良学園大学
（2年）末次 真結
（2年）仲西 健太
（2年）松本　奈々
（2年）前田 千愛美
（1年）谷脇 菜央
（1年）井川 瑞穂

奈良県立大学
（2年）佐藤 康平
（2年）山崎 由佳理

奈良大学
（3年）藤田 莉瀬
（3年）山崎 利紗
（3年）辻 秀平

奈良女子大学
（3年）高木 万由葉

取材・編集：人材ニュース 株式会社
印　　刷　：株式会社 アイプリコム
発　　行　：奈良県中小企業団体中央会

中央会は中小企業組合等の連携組織・中小企業をサポートします。

奈良県中小企業団体中央会は、中小企業組合・任意グループの組織化や中小企業の経営に関する窓口相談や巡回相談を行っています。また、組織の活性化、経営革新への支援を中心に、経営の合理化・高度化・販売促進等の様々な事業活動を実施しております。

人材確保支援・雇用促進

中小企業が発展し活性化を図っていくためには、有能な人材の確保は重要な課題です。新卒者や若年者の雇用及び、高い技術やノウハウ・経験をもった中高年齢者の確保は、中小企業の成長発展に有意義な手段となっています。

当中央会では、中小企業の人材確保のための各種事業に取り組んでいます。
また、雇用の確保にもつながります。
（地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業）
（地域中小企業・小規模事業者UIJターン人材確保支援事業）
（一体的実施事業〈雇用推進・人材確保プロジェクト事業〉）

お問い合せ

奈良県中小企業団体中央会

会長　出口武男

〒630-8213 奈良市登大路町38-1（奈良県中小企業会館3階）

TEL.0742-22-3200 / FAX.0742-26-0125

http://www.chuokai-nara.or.jp/

E-mail : info@chuokai-nara.or.jp　奈良県中央会　検索

奈良県の中小企業魅力情報誌

あなたとナラ働こう

この印刷物は、中小企業庁補助事業平成26年度補正予算「地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」の補助を受けて作成しました。